

2023年度 学修状況・達成度調査 報告書

2024 年 6 月 23 日作成

概要

はじめに：本調査は2017（H29）年度から実施しており2023（R5）年度も継続し、
7年目となる。

目的：学生生活での人間形成や学修状況を学生が自己評価し、その内容から大学の教務・学修状況の向上を検討する。

方法：

- Office365のFormsによるWEBでの調査。
- 2023年度より質問を変更した。取得単位数は削除、前年度からの継続した質問は棒グラフで経年に記載、新規質問は帯グラフで記載した。
- 学生にはGPAとのヒモ付けを告知し、データを教務委員会から提供いただき分析に使用した。
- 調査期間は2024年3月2日～4月16日

対象： 2023年度在学で、休学を除いた **211人**。

結果：

1. 回収率 ; **81.0%** (171人/211人) (2022年度62.9%) 授業時間前・後の利用が回収率を向上した。
2. 結果の詳細はp4以降を参照。

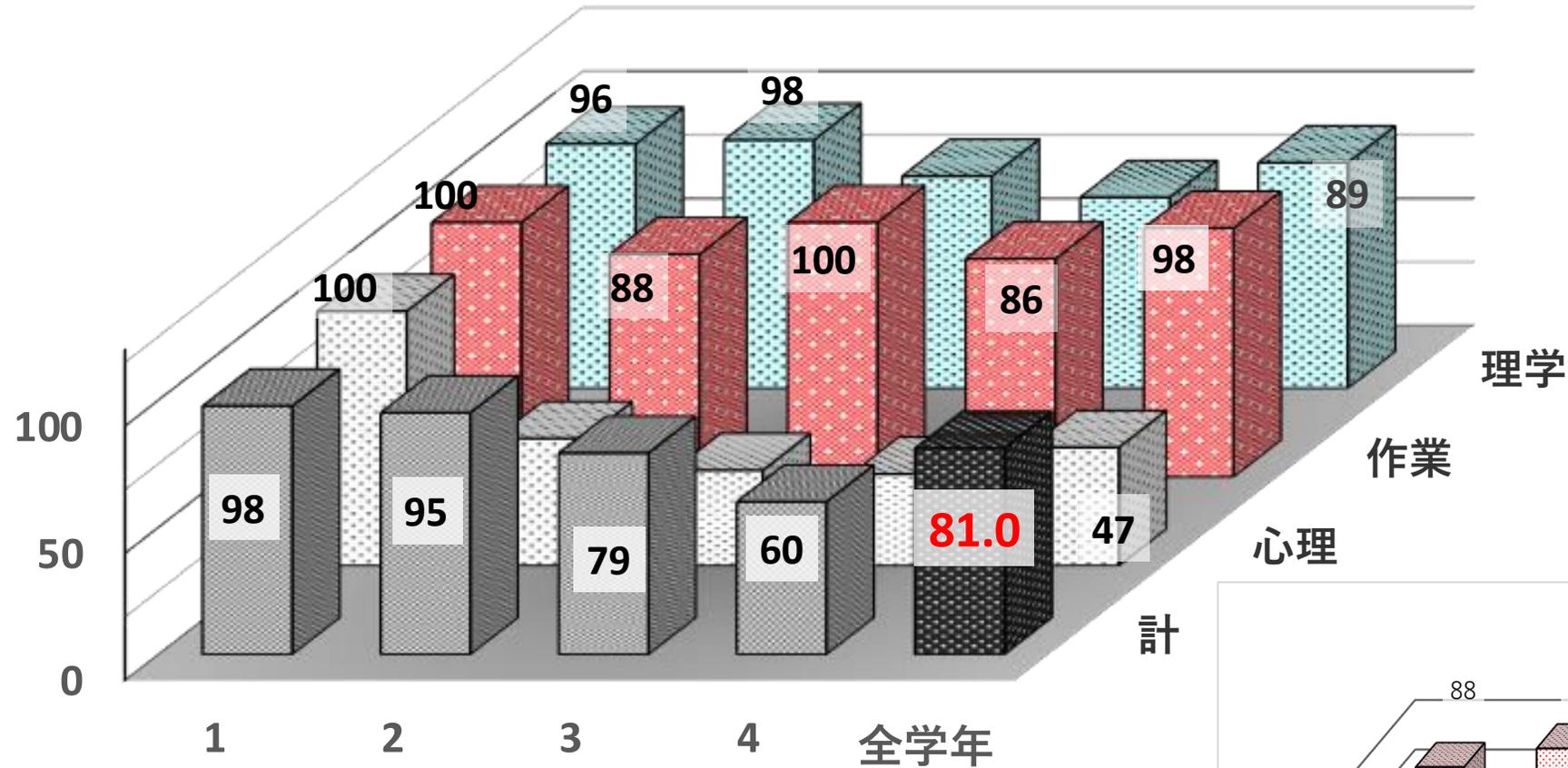
今後の対策

1. 本結果は、学生、教職員共有のTeamsに格納される。
2. 本結果を各専攻において、学年のオリエンテーションで説明する。
特に最終頁の学生からの質問（自由記載）に対する本学各委員会等からの回答は、学生たちに伝達する。
3. GPAとの関連が示された項目「問題についての思考・判断、レポート作成、情報リテラシー、自己表現、1日の学習時間、1週間の学習日数、定期的学習、授業中の教員の話、ゲーム機使用時間、毎日朝食とる」については、学生の誤解を招かないよう丁寧な説明を行う。判断は説明者に一任する。

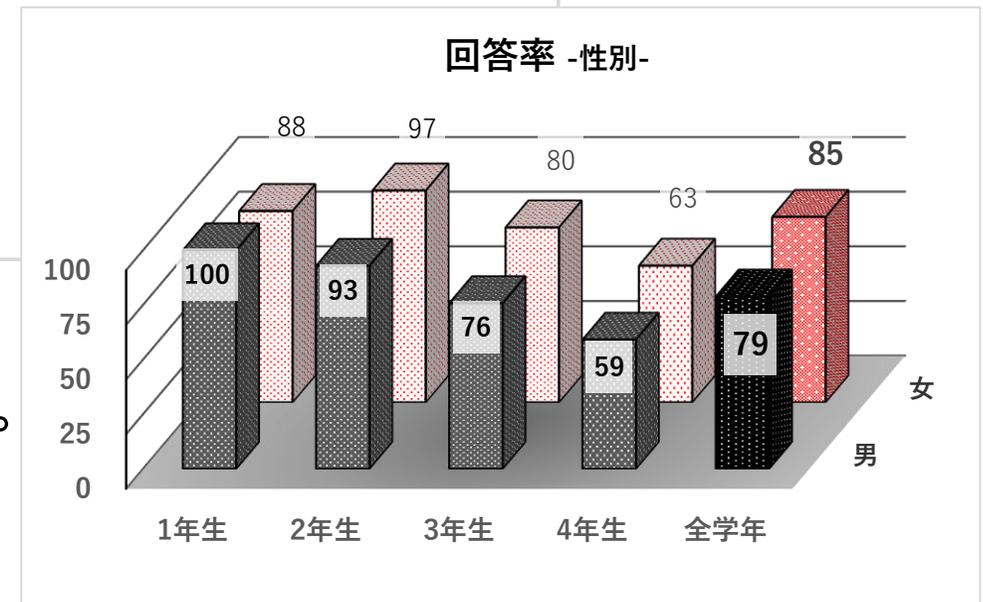
目次

概要	1		
回収率	4		
I.単純集計、2018～2023年度別・学年別の変化			
理解できたか 教養分野、外国語分野	6	学習の方法／授業以外の事柄を自主的に学習	21
理解できたか 専門基礎分野、専門分野	7	授業中の居眠り／授業中教員の話をしている	22
将来のためになるか 教養分野、外国語分野	8	オンライン授業経験／オンライン授業の満足度	23
将来のためになるか 専門基礎分野、専門分野	9	ゲーム機使用時間／朝食をとっているか	24
他者への関わり	10	就寝時刻／起床時刻	25
多様な社会への関心	11	睡眠時間／大学生活が楽しい	26
思考・判断	12	アルバイトの経験／アルバイトの週平均時間	27
他者への態度	13	サークル活動／ボランティア経験	28
情報リテラシー	14	学生生活を送るうえで悩みはあるか	29
レポート作成能力	15	悩みや不安の相談先	30
自己表現	16	転専攻、休学、退学、留年について考えたか	31
1日の平均勉強時間	17	「時々・真剣」に考えた最大の理由	32
1週間の平均学習日数／定期的な学習の時期	18	II.2023年度の質問項目とGPAの関連(ANOVAの結果)	
スマホの使用時間	19	回答3群とGPAに有意差のあった項目	34
座学の学習内容は／実技の学習内容は	20	回答4群とGPAに有意差のなかった項目	35
		III.学生からの質問・意見に対する大学からの回答	36

回答率 -専攻・学年別- (2023)



- 回収率：81.0% (171/211人)、2021年度66.4%、2022年度62.9%より大幅に増加、男女差も小さくなる。
- 3月中に各専攻で授業時にアンケート実施したことが良かった。



単純集計（全学生一括）

- 2018～2023年度別変化（棒グラフの経年変化）
- 2023年度新規項目（帯グラフ単独）

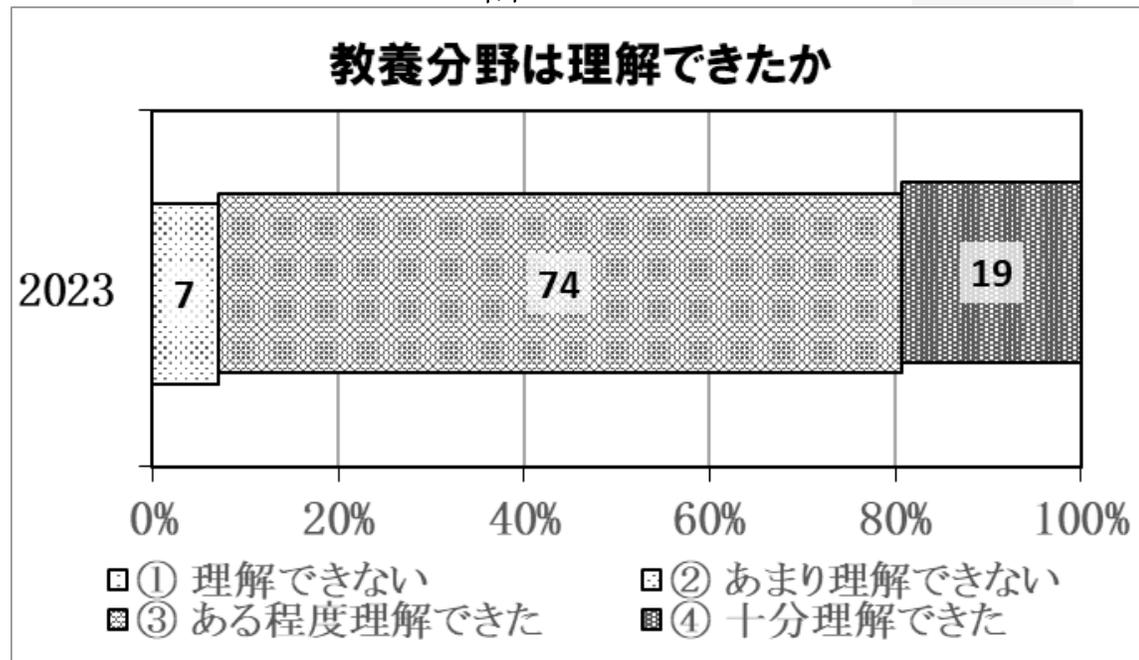
注1: 本学の教育課程(カリキュラム)は、2019年度入学生と2020年度以降(4、3、2、1年生)の入学生で異なっている。

注2: 分散分析はクラスカルウォリス検定で行った。結果は分かり易いように各群のGPA平均値で表記した。

教養分野は理解できたか (%)

	全学年 2023
① 理解できない	0
② あまり理解できない	7
③ ある程度理解できた	74
④ 十分理解できた	19
計	100

} 93%

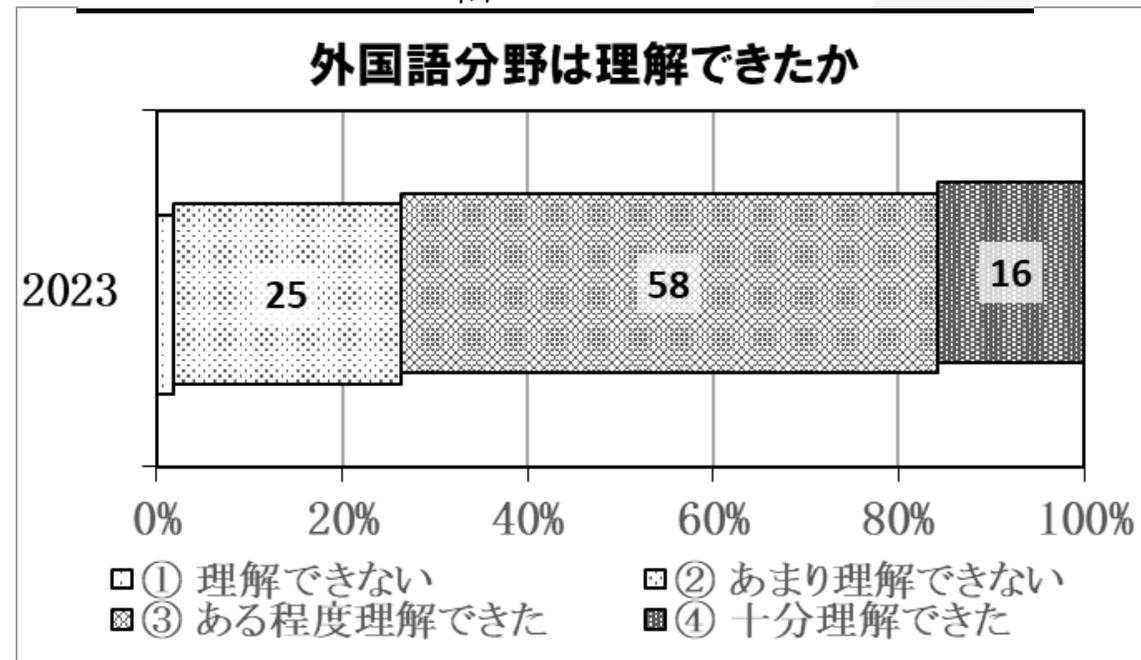


「ある程度・十分」理解できたが 93%。

外国語分野は理解できたか (%)

	全学年 2023
① 理解できない	2
② あまり理解できない	25
③ ある程度理解できた	58
④ 十分理解できた	16
計	100

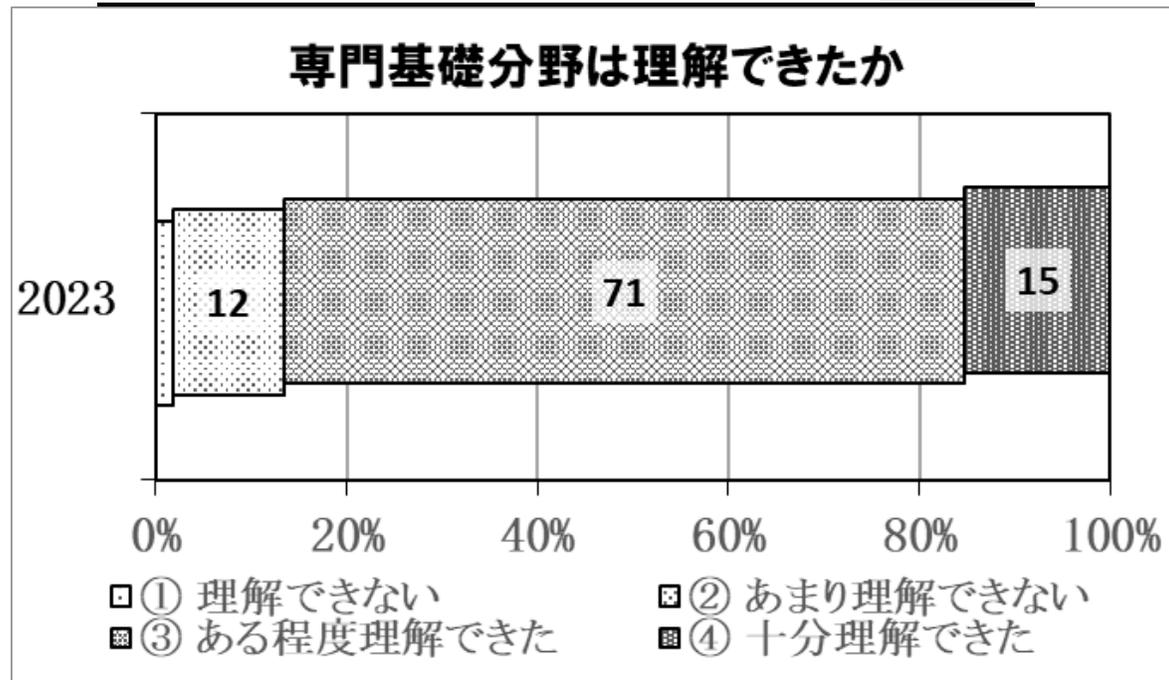
} 74%



「ある程度・十分」理解できたが 74%。他分野より約20% 低値。

専門基礎養分野は理解できたか (%)

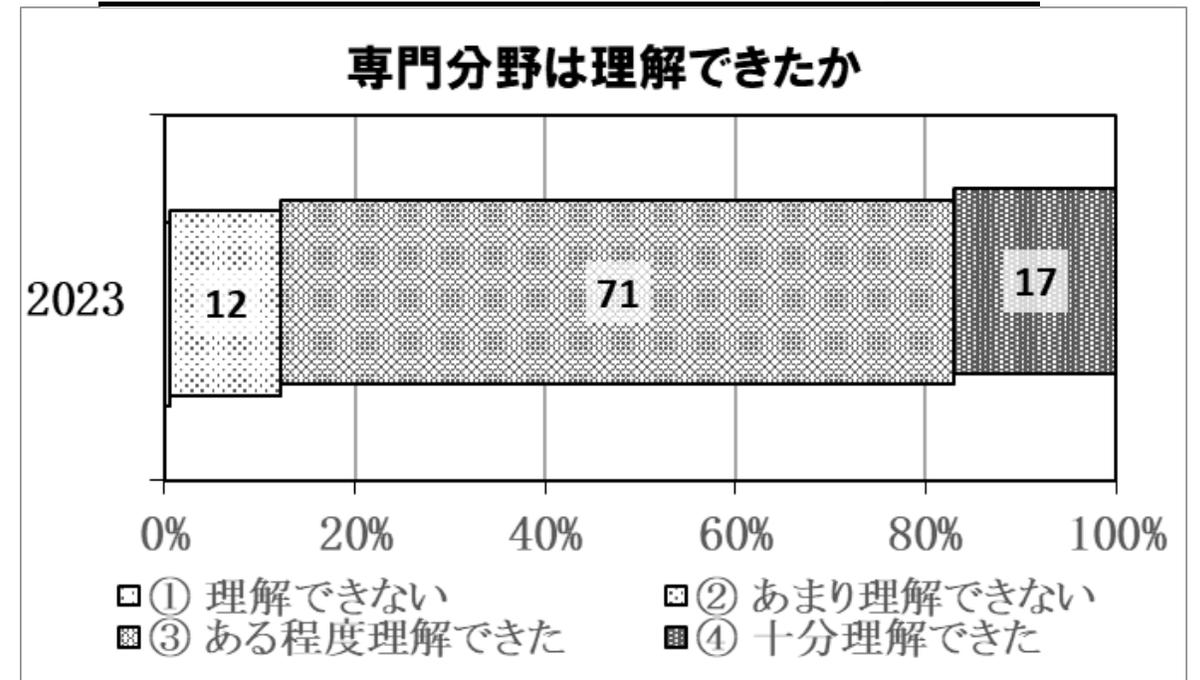
	全学年 2023	
① 理解できない	2	} 86%
② あまり理解できない	12	
③ ある程度理解できた	71	
④ 十分理解できた	15	
計	100	



「ある程度・十分」理解できたが 86%。

専門分野は理解できたか (%)

	全学年 2023	
① 理解できない	0.6	} 88%
② あまり理解できない	12	
③ ある程度理解できた	71	
④ 十分理解できた	17	
計	100	

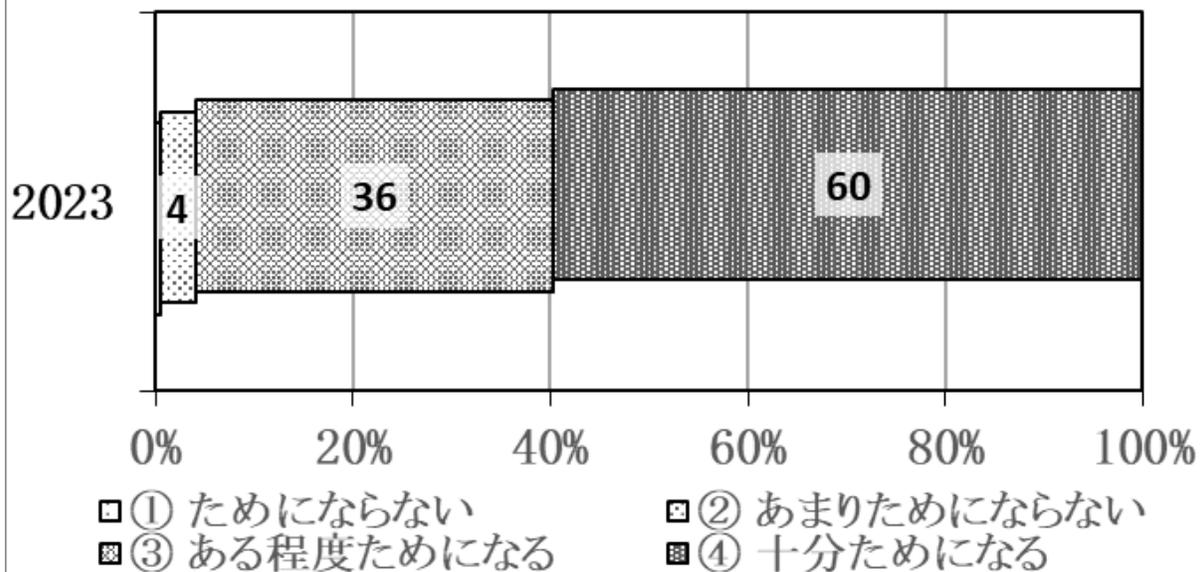


「ある程度・十分」理解できたが 88%。

教養分野は将来のためになる (%)

	全学年 2023	
① ためにならない	1	} 96%
② あまりためにならない	4	
③ ある程度ためになる	36	
④ 十分ためになる	60	
計	100	

教養分野は将来のためになる

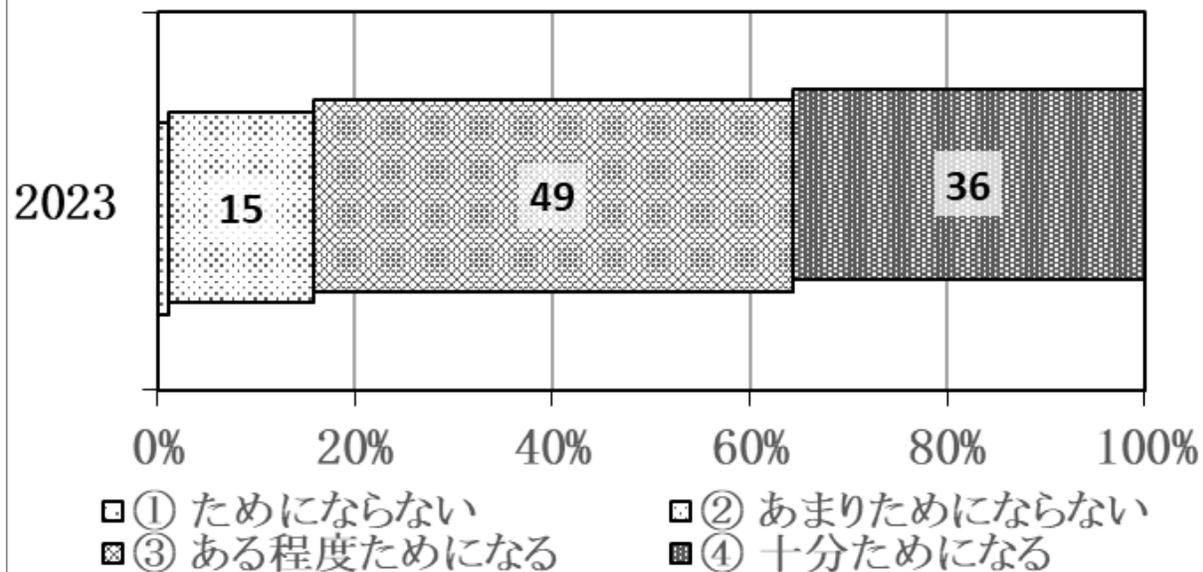


「ある程度・十分」将来のためになる 96%。

外国語分野は将来のためになる (%)

	全学年 2023	
① ためにならない	1	} 85%
② あまりためにならない	15	
③ ある程度ためになる	49	
④ 十分ためになる	36	
計	100	

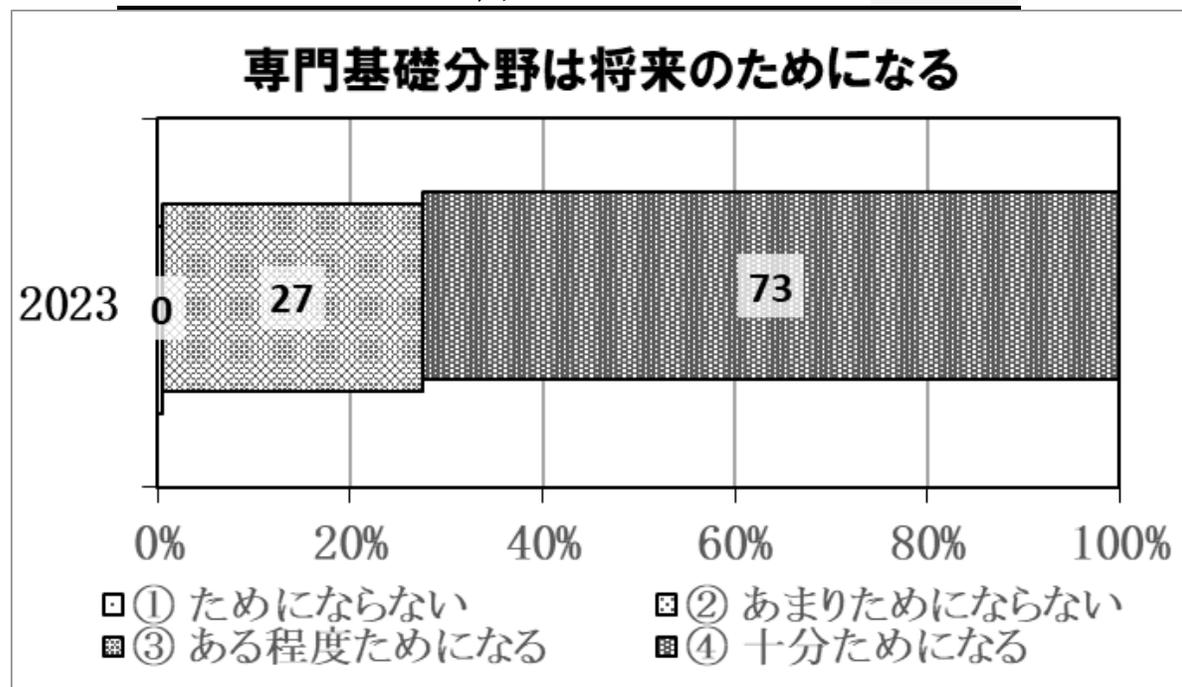
外国語分野は将来のためになる



「ある程度・十分」将来のためになる 85%。

専門基礎分野は将来のためになる (%)

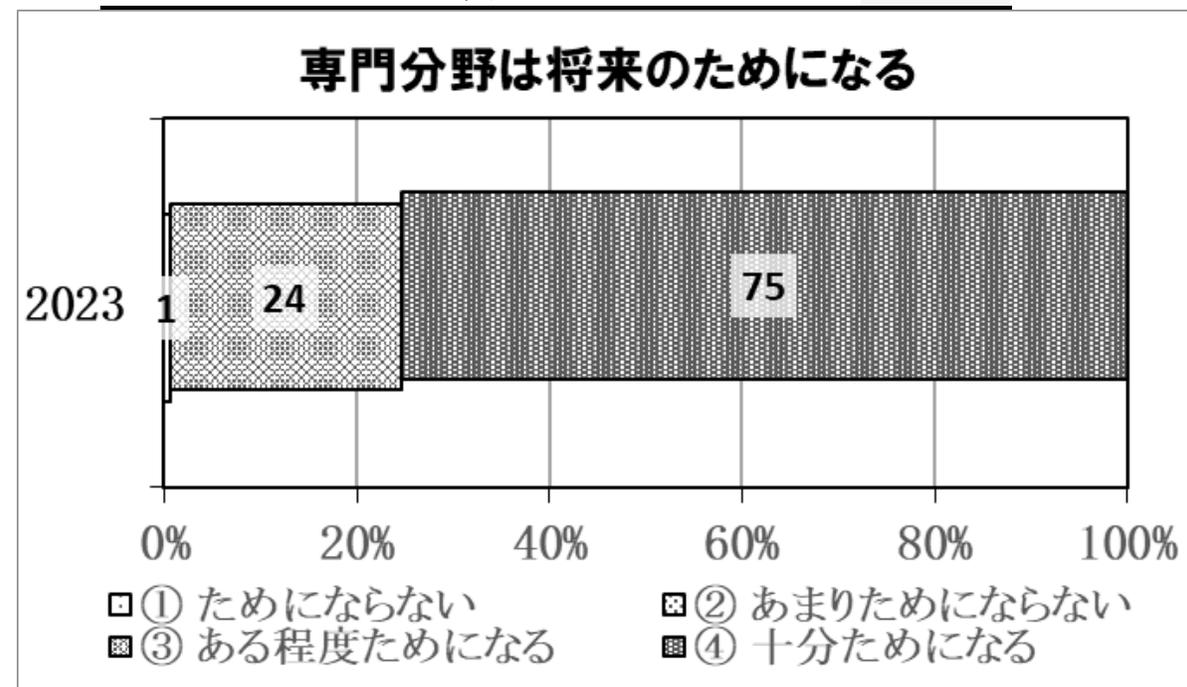
	全学年 2023	
① ためにならない	0.6	} 99.4%
② あまりためにならない	0.0	
③ ある程度ためになる	26.9	
④ 十分ためになる	72.5	
計	100	



「ある程度・十分」将来のためになる 100%。

専門分野は将来のためになる (%)

	全学年 2023	
① ためにならない	0	} 99%
② あまりためにならない	1	
③ ある程度ためになる	24	
④ 十分ためになる	75	
計	100	



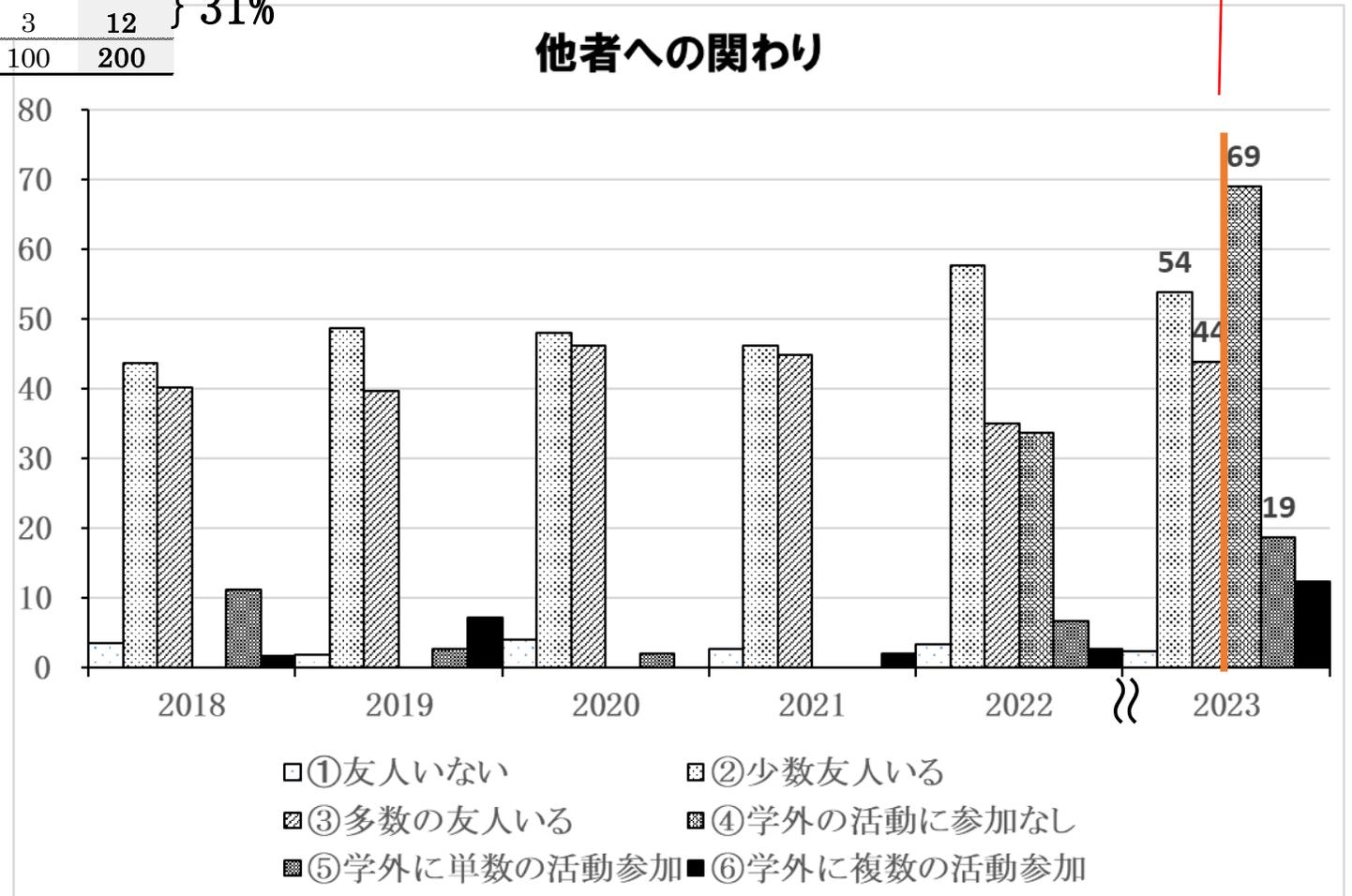
「ある程度・十分」将来のためになる 99%。

他者への関わり；学内と学外で複数の回答(%)

	全学年					
	2018	2019	2020	2021	2022	2023
①友人いない	3	2	4	3	3	2
②少数友人いる	44	49	48	46	58	54
③多数の友人いる	40	40	46	45	35	44
④学外の活動に参加なし					34	69
⑤学外に単数の活動参加	11	3	2	0	7	19
⑥学外に複数の活動参加	2	7	0	2	3	12
計	100	100	100	96	100	200

} 31%

2023年度より学内の友人と学外の活動を2つの設問に分離

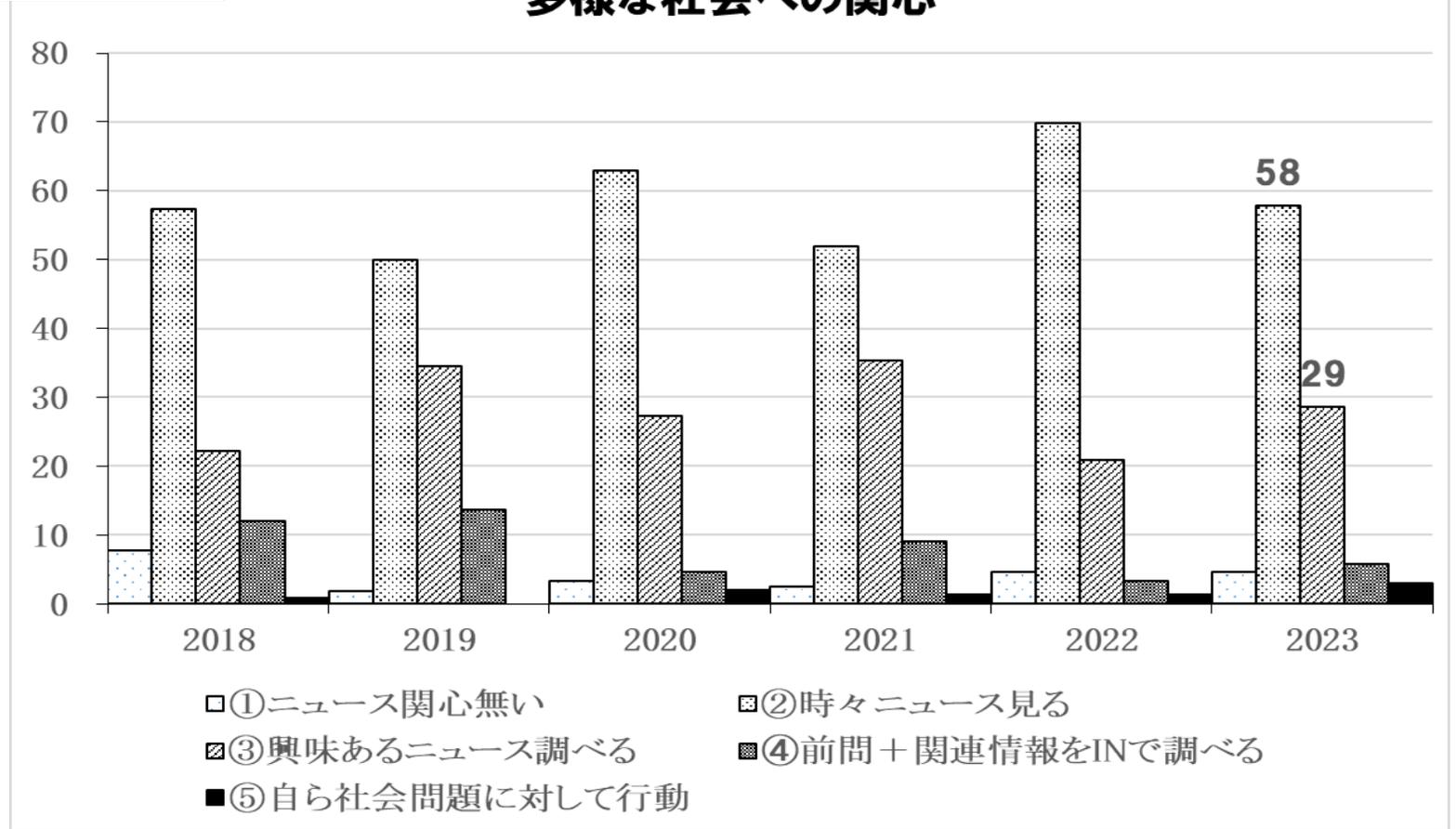


2023年度より①～③は学内に友人、④～⑥は学外での活動の2つに分けて設問した(各100%)。学内の友人は小数 54%と多数 44%に分かれた。学外活動は単数・複数の活動参加が 31%。

多様な社会への関心 (%)

	全学年					
	2018	2019	2020	2021	2022	2023
①ニュース関心無い	8	2	3	3	5	5
②時々ニュース見る	57	50	63	52	70	58
③興味あるニュース調べる	22	35	27	35	21	29
④前問+関連情報をINで調べる	12	14	5	9	3	6
⑤自ら社会問題に対して行動	1	0	2	1	1	3
計	100	100	100	100	100	100

多様な社会への関心



過去6年間の傾向に著変ない。高値は「時々ニュースを見る」58%、「興味をあるニュースを調べる」29%。

思考・判断: 日々の学内外の生活で直面する問題・課題について (%)

	全学年					
	2018	2019	2020	2021	2022	2023
①自分で考え判断できない	3	2	3	1	1	1
②理解と判断にアドバイス多く必要	19	23	16	15	19	13
③少しのアドバイスで理解判断できる	55	50	46	52	45	43
④ほとんど自分で判断行動可	21	21	32	29	32	37
⑤すべての事柄自分で判断行動可	3	5	4	3	2	6
計	100	100	100	100	100	100

GPA平均

各群のGPA平均

2.45

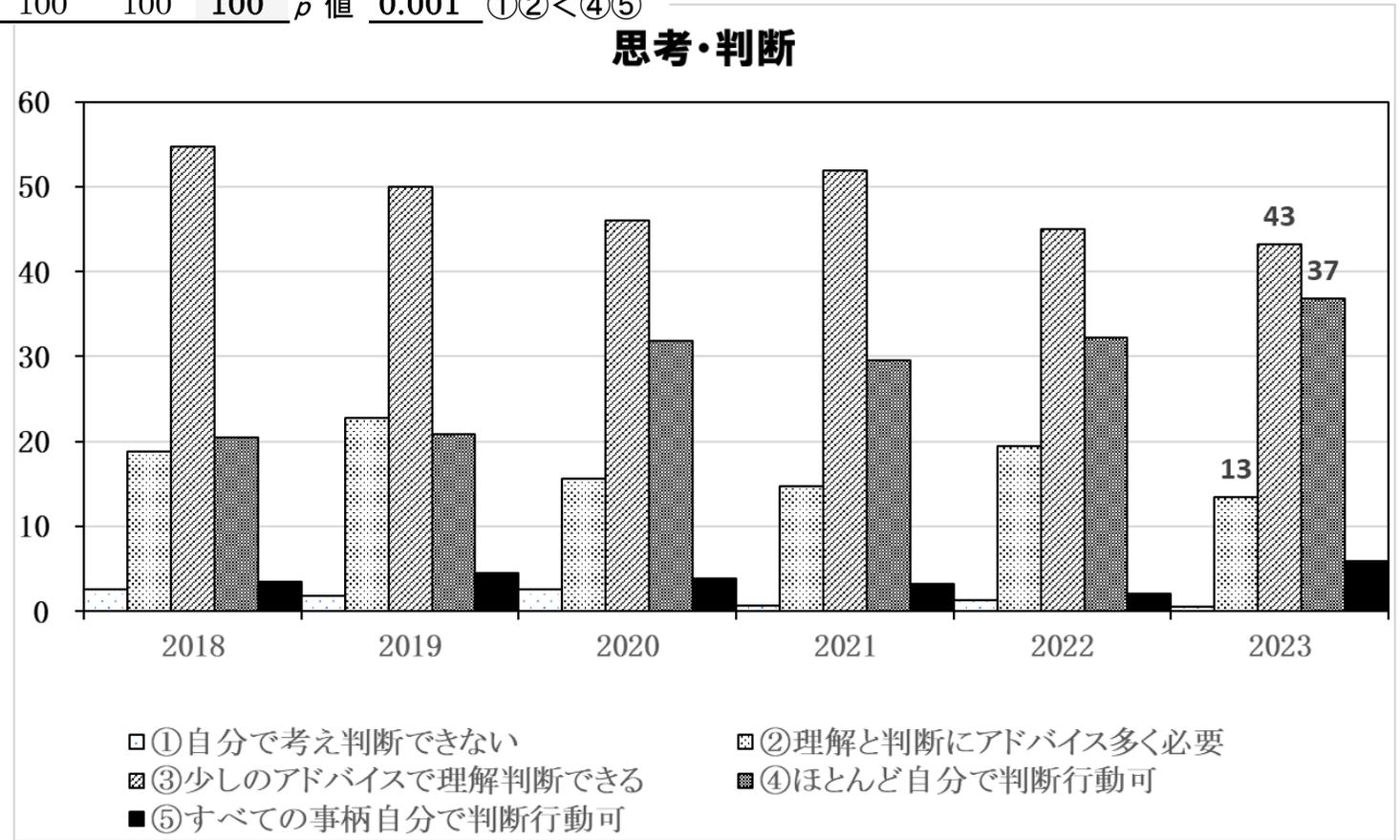
2.70

2.87

p 値

事後検定

p 値 0.001 ①②<④⑤

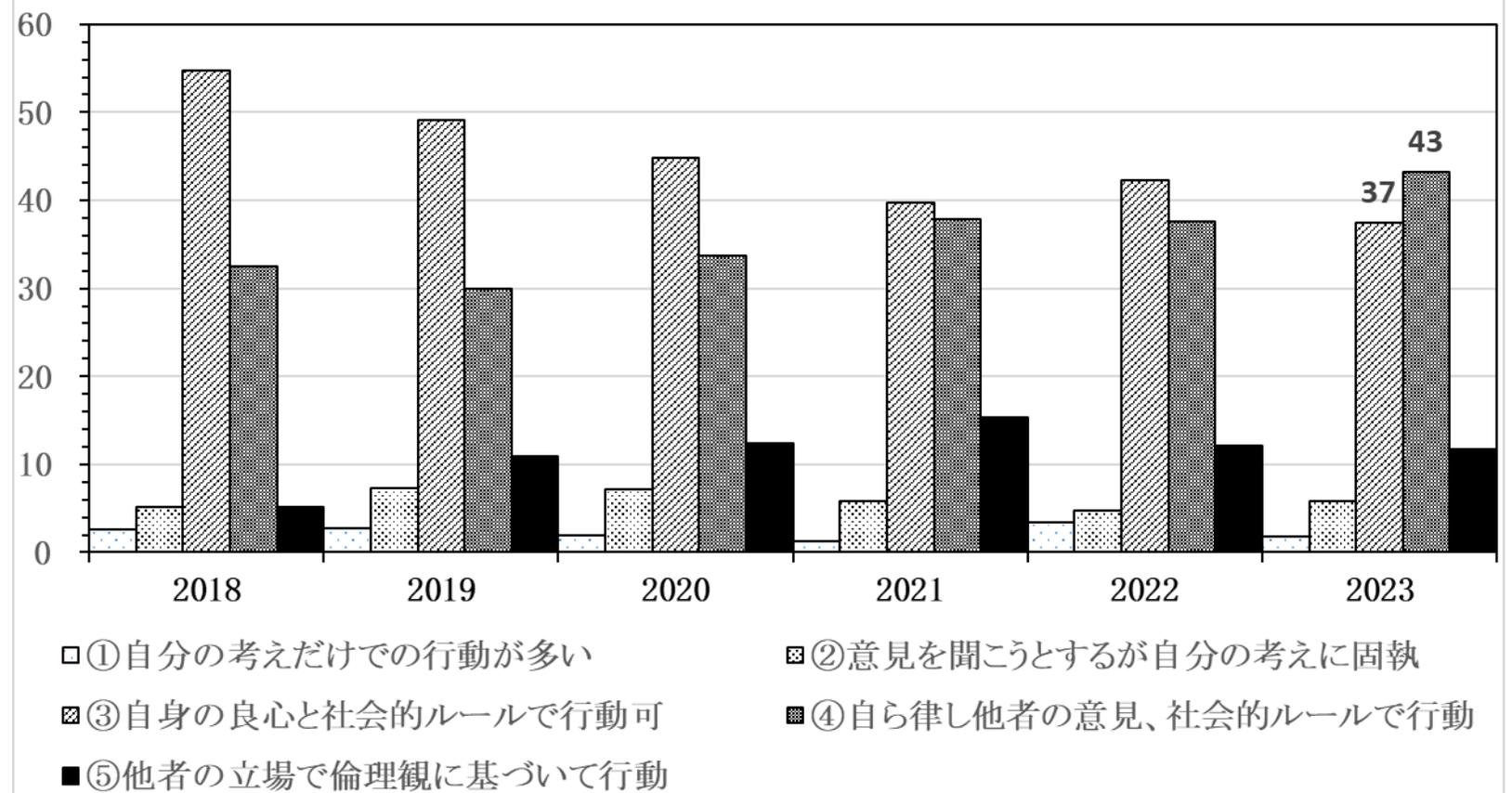


過去4年間では多い順に「③少しのアドバイスで理解判断できる」「④ほとんど自分で判断行動可」。この2項目で 80% 占める。

他者への態度; 自分が他者にとっての態度について (%)

	全学年					
	2018	2019	2020	2021	2022	2023
①自分の考えだけでの行動が多い	3	3	2	1	3	2
②意見を聞こうとするが自分の考えに固執	5	7	7	6	5	6
③自身の良心と社会的ルールで行動可	55	49	45	40	42	37
④自ら律し他者の意見、社会的ルールで行動	32	30	34	38	38	43
⑤他者の立場で倫理観に基づいて行動	5	11	12	15	12	12
計	100	100	100	100	100	100

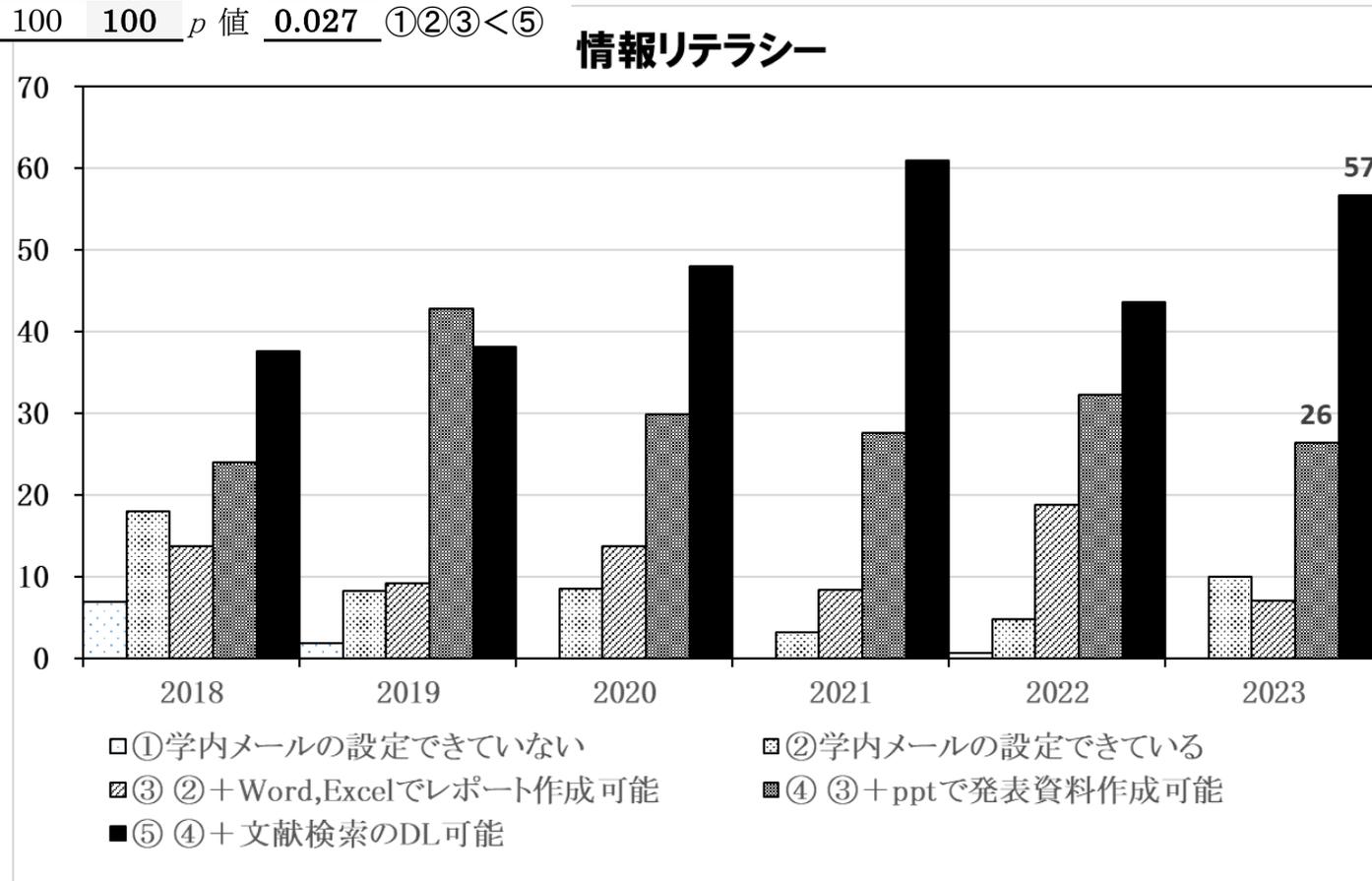
他者への態度



2023年度に初めて「④自らを律し他者の意見、社会的ルールで行動」が「③自身の良心と社会的ルールで行動可」より高値。

情報リテラシー (%)

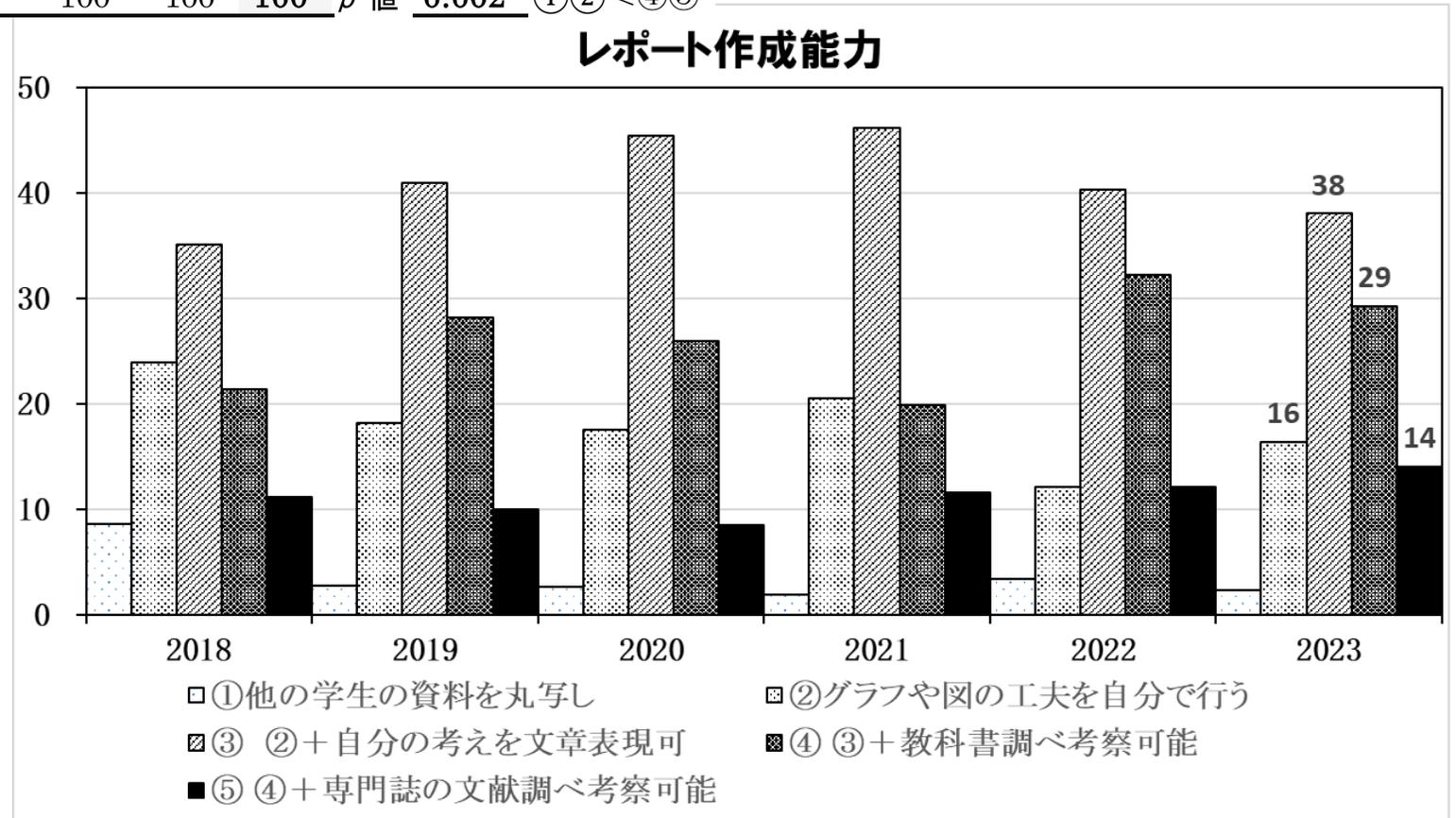
	全学年						GPA 平均
	2018	2019	2020	2021	2022	2023	
①学内メールの設定できていない	7	2	0	0	1	0	2.56
②学内メールの設定できている	18	8	8	3	5	10	
③ ②+Word,Excelでレポート作成可能	14	9	14	8	19	7	2.67
④ ③+pptで発表資料作成可能	24	43	30	28	32	26	
⑤ ④+文献検索のDL可能	38	38	48	61	44	57	2.82
計	100	100	100	100	100	100	p 値 0.027 ①②③<⑤



高値項目は「⑤前問+文献検索のDL可能」57% であり、2020年度から最高値を維持。

レポート作成能力 (%)

	全学年						GPA 平均
	2018	2019	2020	2021	2022	2023	
①他の学生の資料を丸写し	9	3	3	2	3	2	2.56
②グラフや図の工夫を自分で行う	24	18	18	21	12	16	
③ ②+自分の考えを文章表現可	35	41	45	46	40	38	2.66
④ ③+教科書調べ考察可能	21	28	26	20	32	29	2.88
⑤ ④+専門誌の文献調べ考察可能	11	10	8	12	12	14	0.002 ①②<④⑤
計	100	100	100	100	100	100	

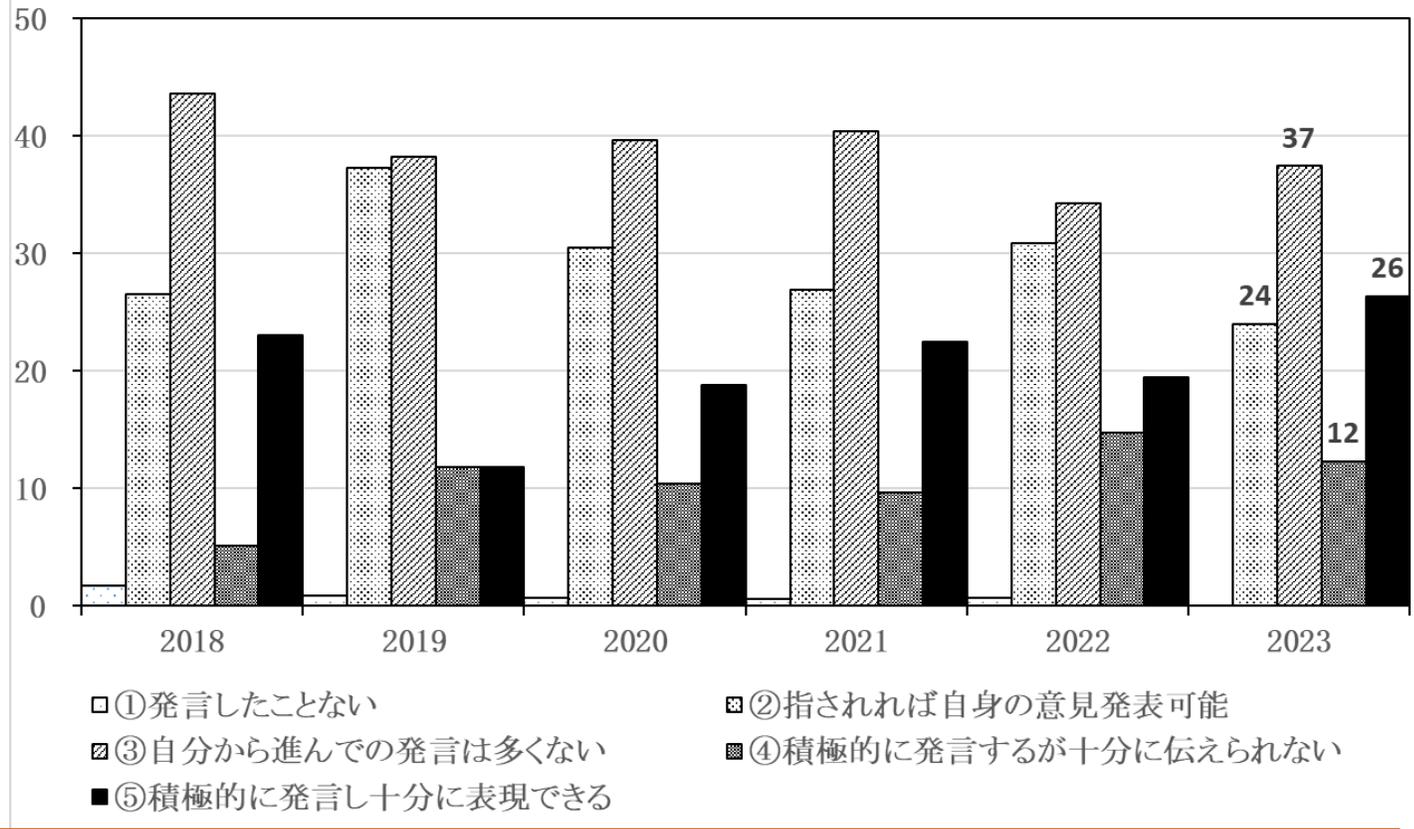


2022年度とほぼ同様の傾向。

自己表現 (%)

	全学年						GPA 平均
	2018	2019	2020	2021	2022	2023	
①発言したことない	2	1	1	1	1	0	2.63
②指されれば自身の意見発表可能	26	37	31	27	31	24	
③自分から進んでの発言は多くない	44	38	40	40	34	37	2.63
④積極的に発言するが十分に伝えられ	5	12	10	10	15	12	2.92
⑤積極的に発言し十分に表現できる	23	12	19	22	19	26	
計	100	100	100	100	100	100	p 値 0.002 ①②,③<④⑤

自己表現



2023年度に過去6年間で高レベルの「⑤前問+文献検索のDL可能」26%が最高値。
 一方、「②指されれば自身の意見発表可能」「③自分から進んでの発言は多くない」は常に60%台存在。

1日平均学習時間 (%)

	全学年					
	2018	2019	2020	2021	2022	2023
①ほとんど勉強していない	15	8	5	8	9	9
②1日平均1時間未満	27	27	22	26	32	27
③1日平均1時間以上2時間未満	37	51	44	43	39	32
④1日平均2時間以上4時間未満	13	12	17	13	15	19
⑤1日平均4時間以上	9	2	12	10	5	14
計	100	100	100	100	100	100

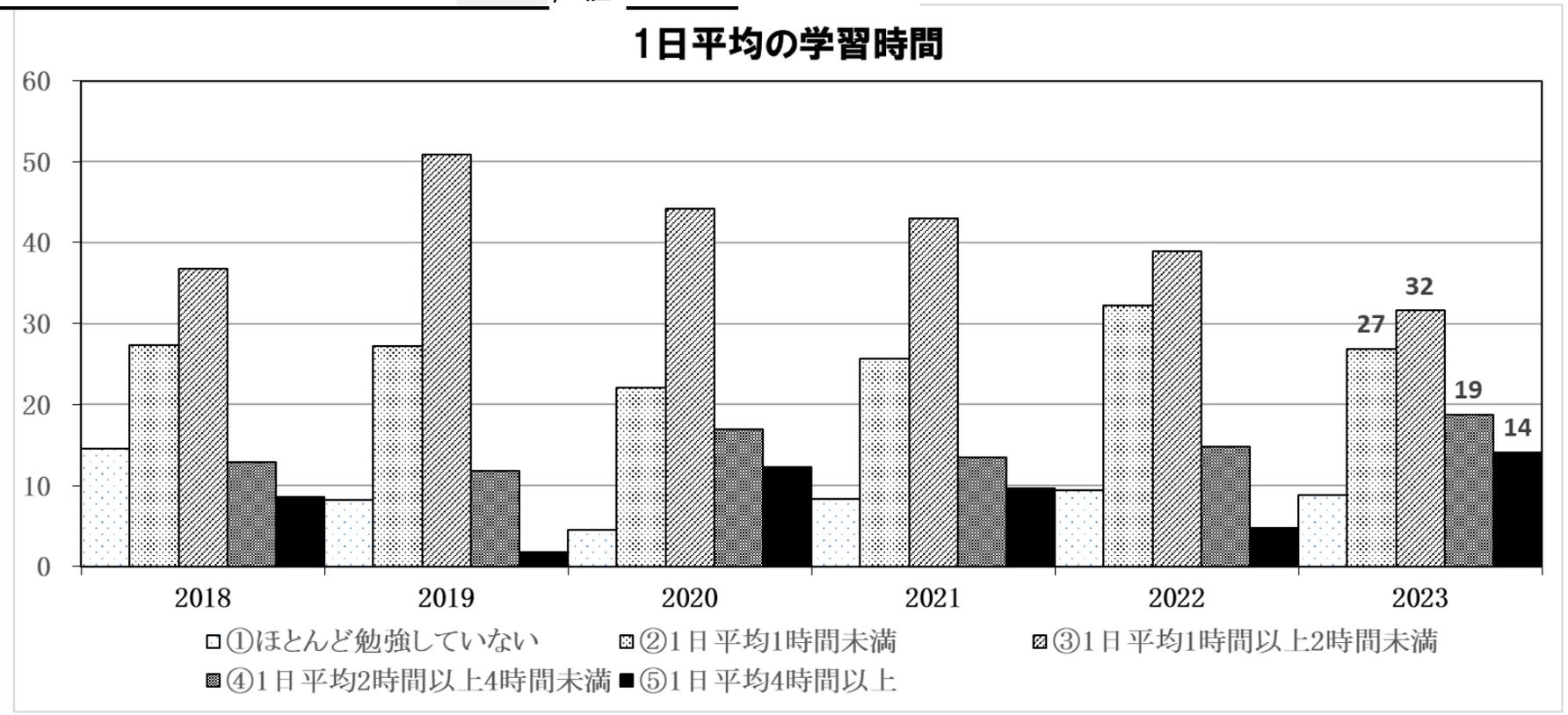
GPA
平均

2.61

2.78

2.87

p 値 0.016 ①②<④⑤

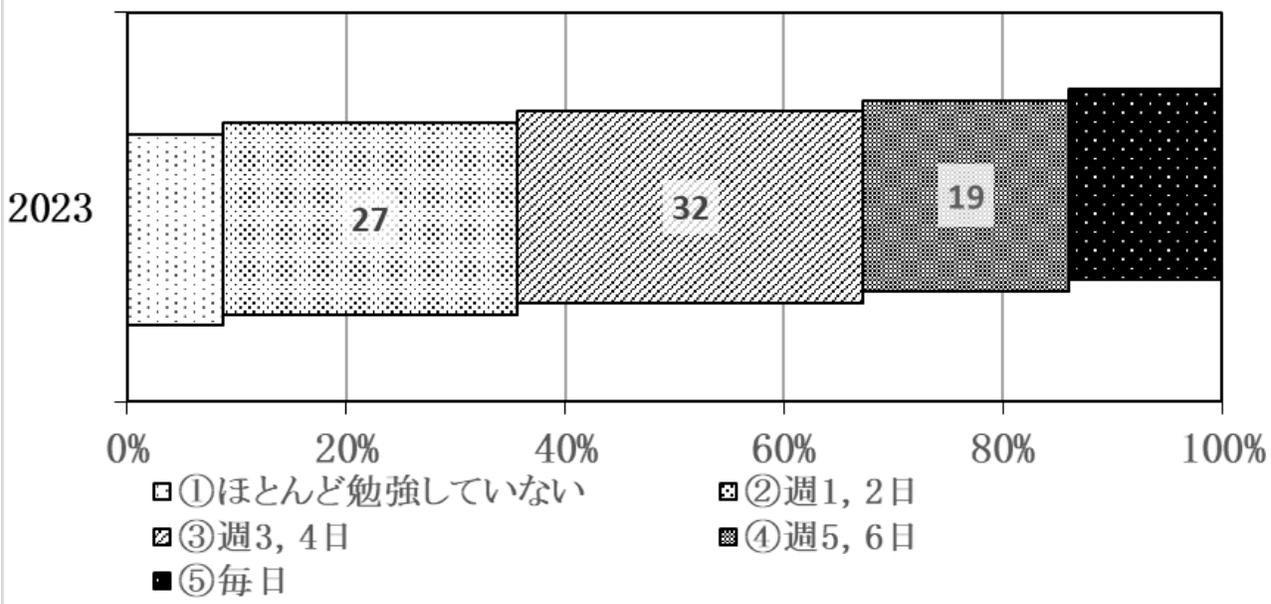


「⑤1日平均4時間以上」が14%で、やや回復傾向。1日平均2時間以上は33%で、3割はよく学習している。

1週間 平均学習日数 (%)

	全学年 2023	GPA 平均
①ほとんど勉強していない	9	2.61
②週1, 2日	27	
③週3, 4日	32	2.80
④週5, 6日	19	2.82
⑤毎日	14	
計	100	ρ 値 0.016 ①②<④⑤

1週間の平均学習日数

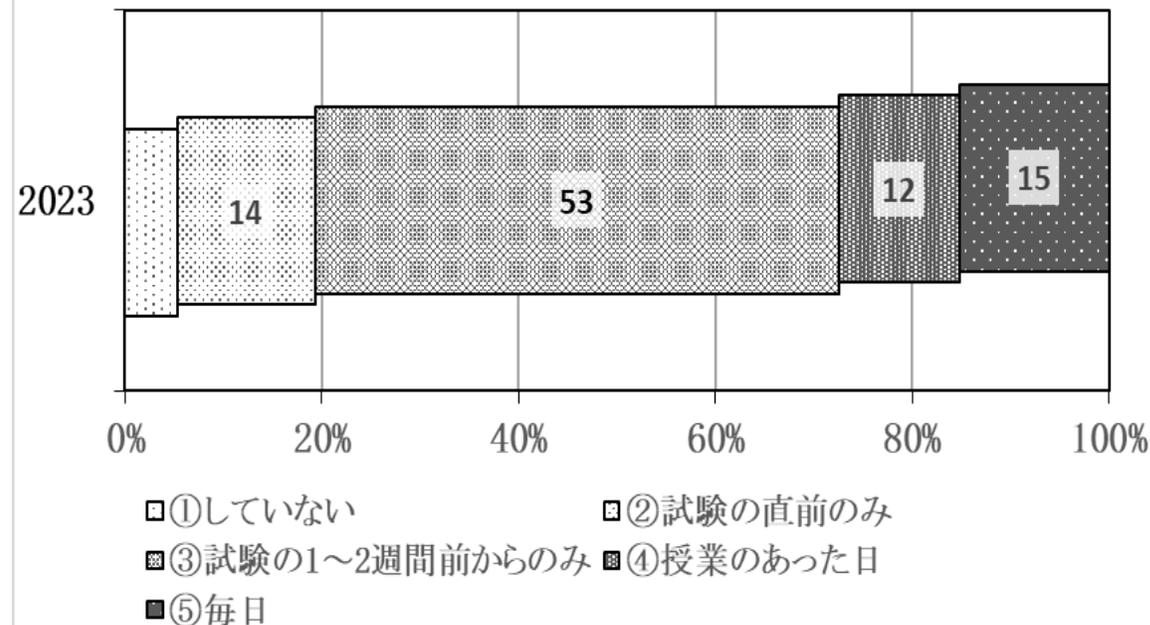


「①ほとんどしていない+②週1, 2日」36%、一方「④週5, 6日+⑤毎日」33%で、「③週3, 4日」32%と3分類される。

定期的な学習の時期 (%)

	全学年 2023	GPA 平均
①していない	5	2.52
②試験の直前のみ	14	
③試験の1~2週間前からのみ	53	2.77
④授業のあった日	12	2.83
⑤毎日	15	
計	100	ρ 値 0.016 ①②<③,④⑤

定期的な学習の時期

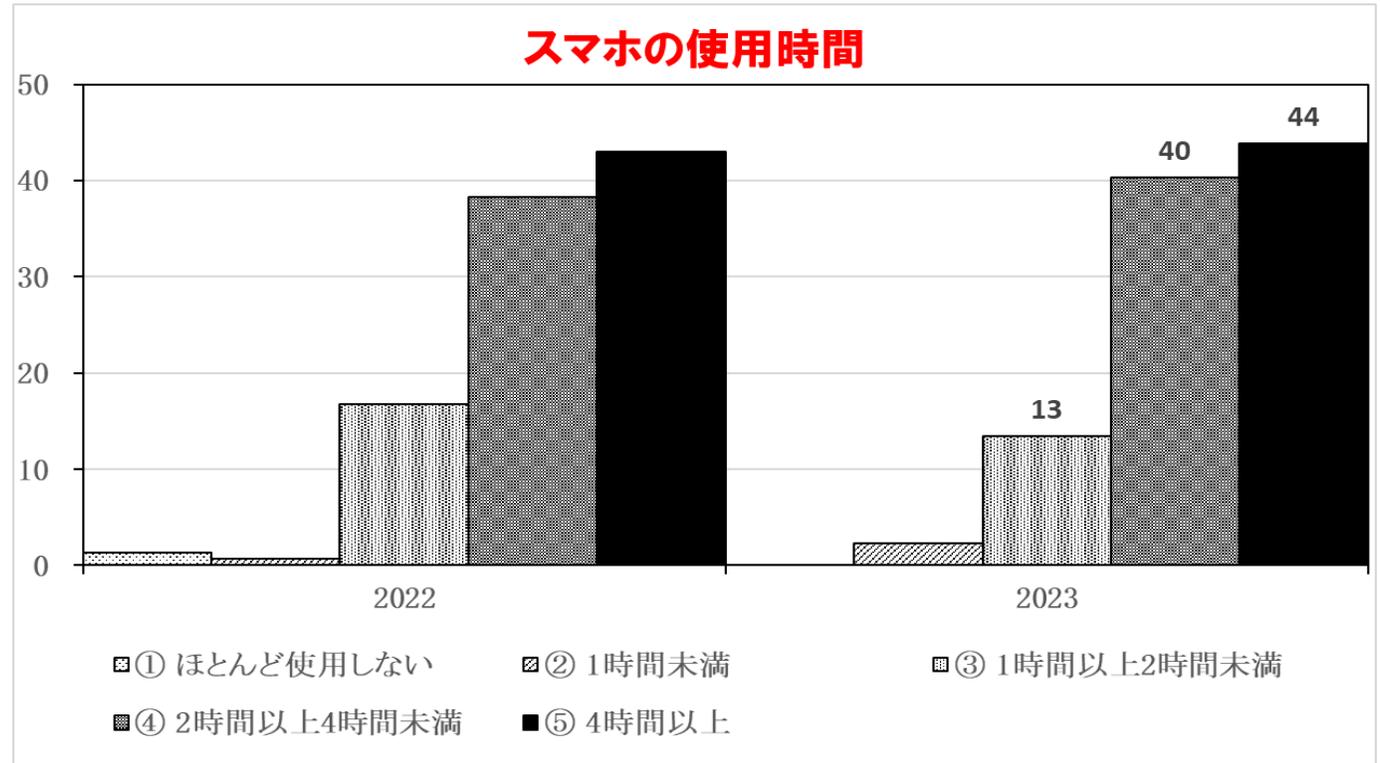


「①していない+②試験直前」19%、一方「④授業のあった日+⑤毎日」27%。

スマホの使用時間（1日平均，学習は除く）（％）

	全学年	
	2022	2023
① ほとんど使用しない	1	0
② 1時間未満	1	2
③ 1時間以上2時間未満	17	13
④ 2時間以上4時間未満	38	40
⑤ 4時間以上	43	44
計	100	100

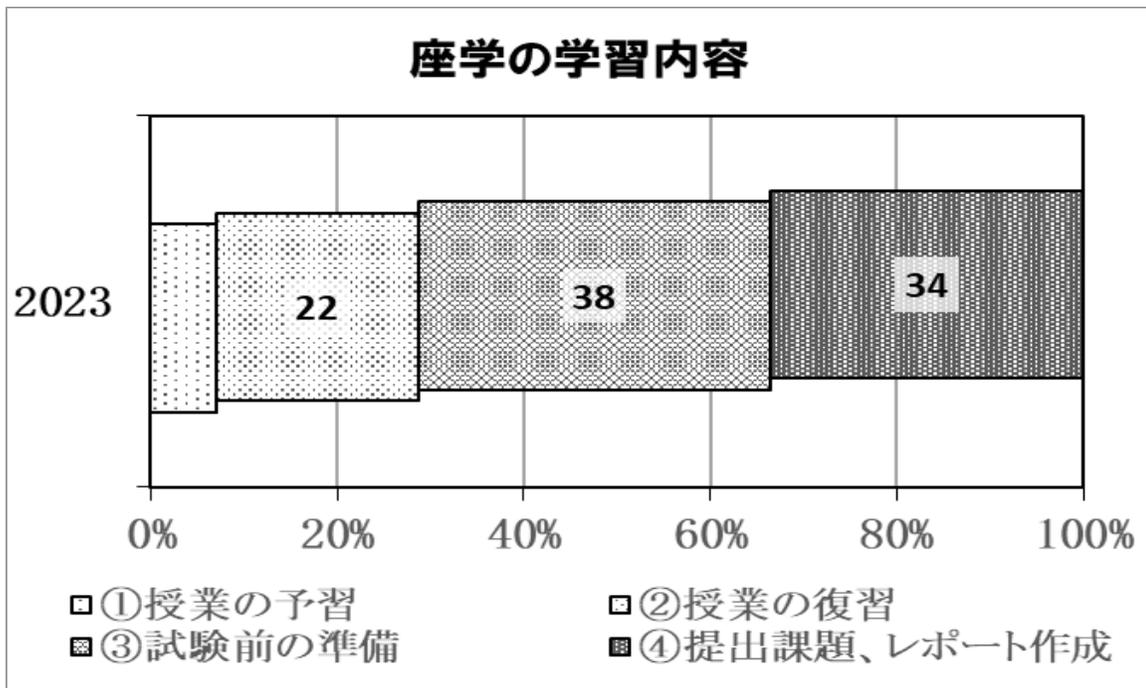
} 84%



2022年度と同様の傾向。 1日平均使用時間が2時間以上 84%。

座学の学習内容は (%)

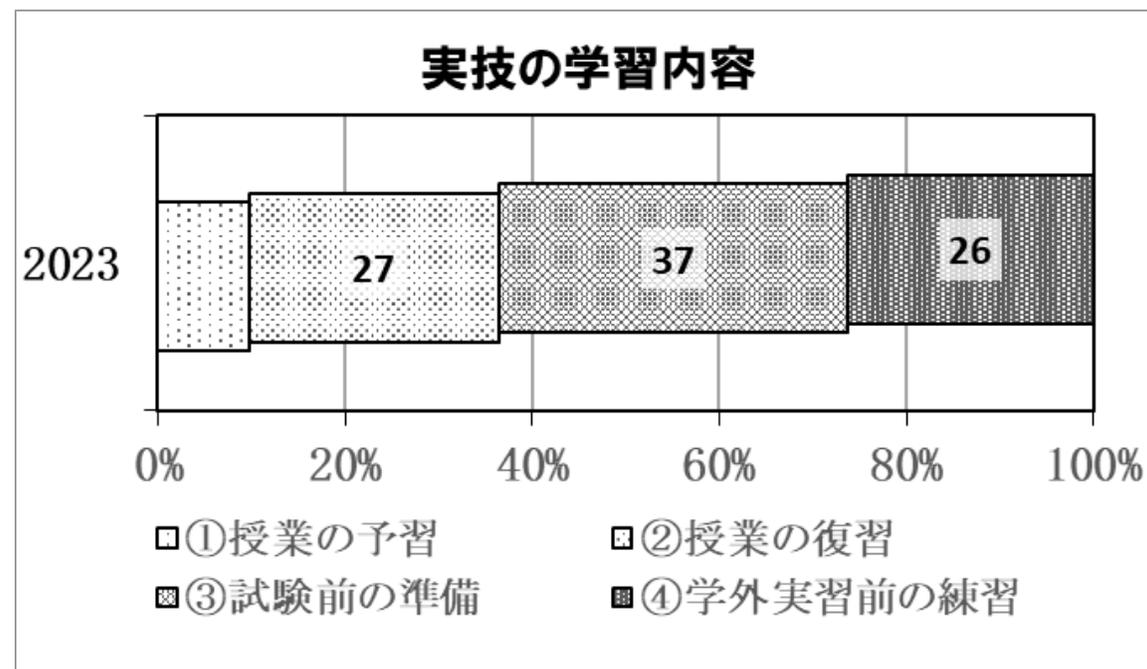
	全学年	
	2023	
①授業の予習	7	} 29%
②授業の復習	22	
③試験前の準備	38	
④提出課題、レポート作成	34	
計	100	



「予習・復習」を 29%。

実技の学習内容は (%)

	全学年	
	2023	
①授業の予習	10	} 37%
②授業の復習	27	
③試験前の準備	37	
④学外実習前の練習	26	
計	100	



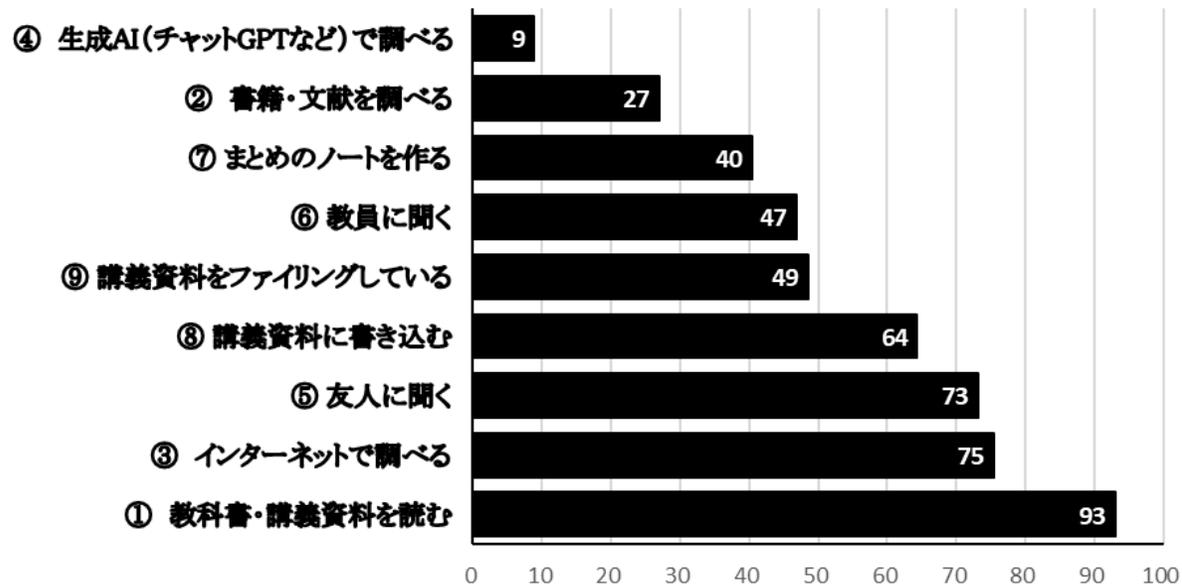
「予習・復習」を 37%。

学習の方法（複数回答）（%）

	全学年 2023
① 教科書・講義資料を読む	93
③ インターネットで調べる	75
⑤ 友人に聞く	73
⑧ 講義資料に書き込む	64
⑨ 講義資料をファイリングしている	49
⑥ 教員に聞く	47
⑦ まとめのノートを作る	40
② 書籍・文献を調べる	27
④ 生成AI(チャットGPTなど)で調べる	9

対 回答者171人の%

学習方法(複数回答)% -全回答者に対する割合-



学習方法は様々である。「⑦まとめノートを作る」「⑨講義資料をファイリング」は40%台である。

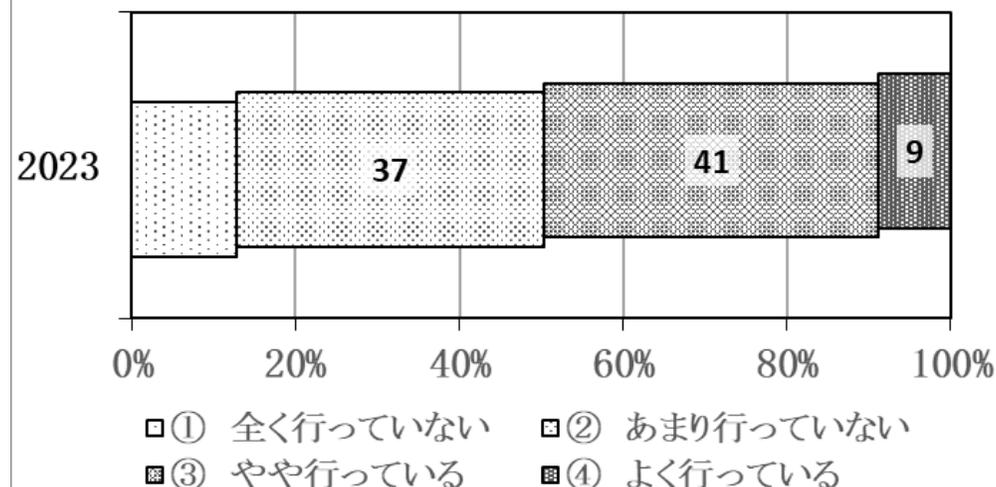
授業以外の事柄を自主的に学習（%）

	全学年 2023	GPA 平均
① 全く行っていない	13	2.66
② あまり行っていない	37	2.74
③ やや行っている	41	2.76
④ よく行っている	9	
計	100	ρ 値 0.716

} 50%

ρ 値

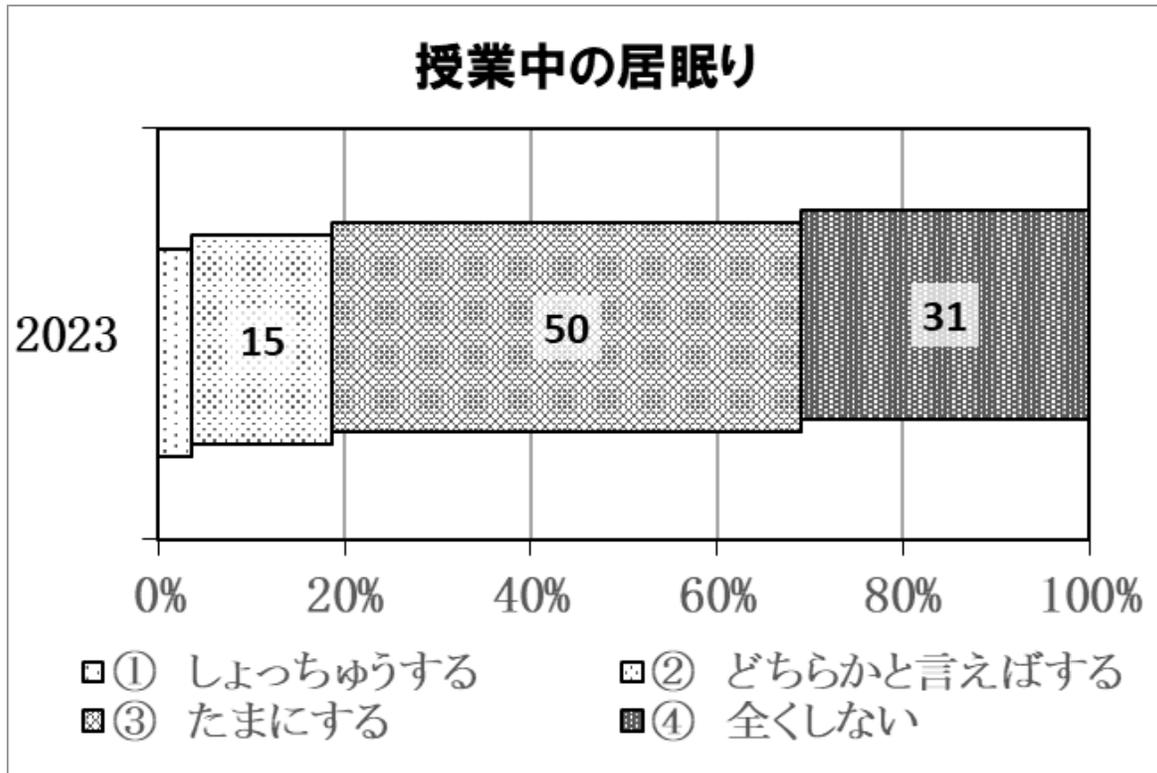
授業以外の事柄を自主的に学習



50%が「③やや+④よく」行っている。

授業中の居眠り (%)

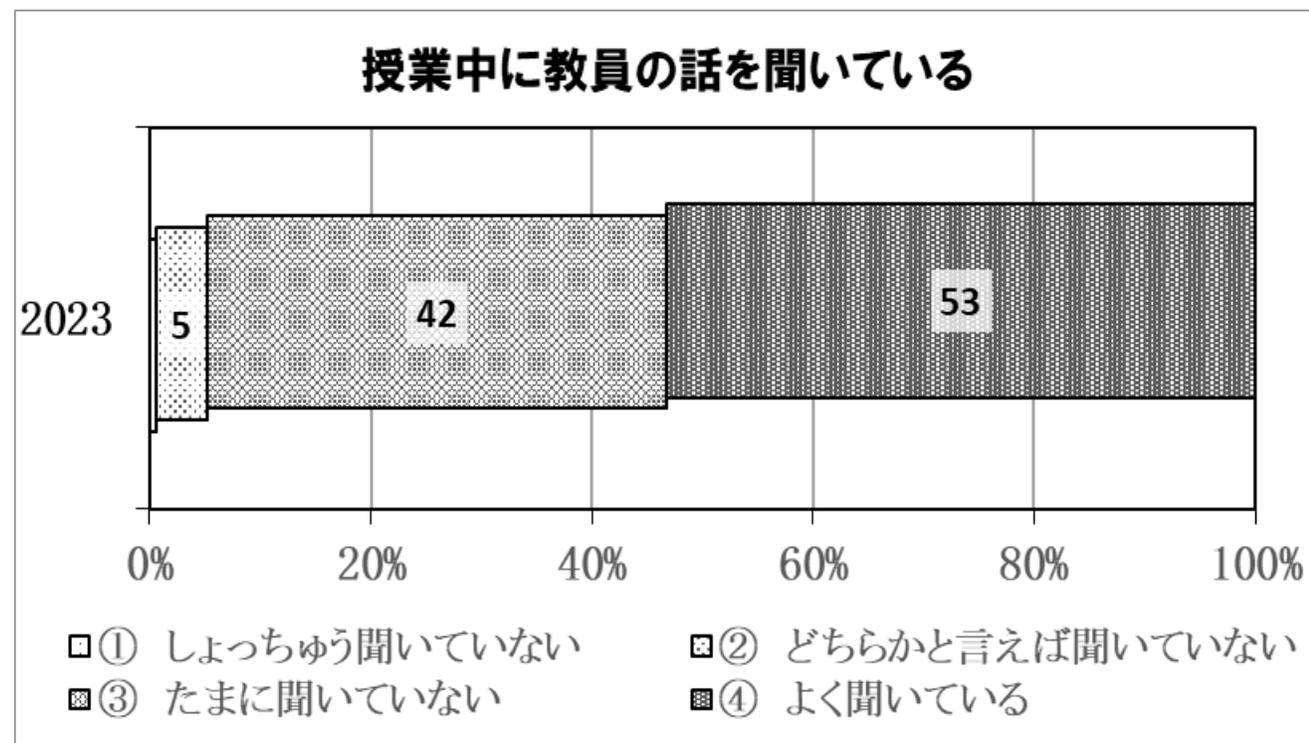
	全学年 2023	GPA 平均
① しょっちゅうする	4	2.56
② どちらかと言えばする	15	2.77
③ たまにする	50	2.79
④ 全くしない	31	2.79
計	100	p 値 0.072



居眠りを「④全くしない」31%。

授業中に教員の話 を聞いている (%)

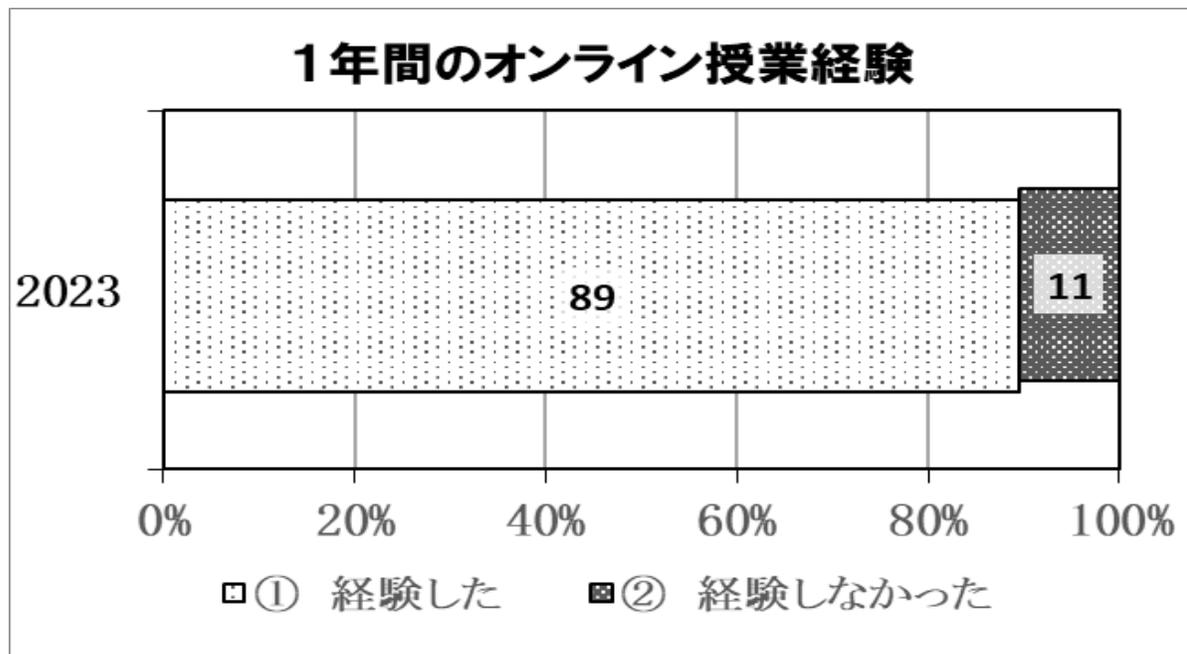
	全学年 2023	GPA 平均
① しょっちゅう聞いていない	1	2.41
② どちらかと言えば聞いていない	5	2.67
③ たまに聞いていない	42	2.83
④ よく聞いている	53	2.83
計	100	p 値 0.011 ①②<④



「④よく聞いている」53%。

1年間のオンライン授業経験 (%)

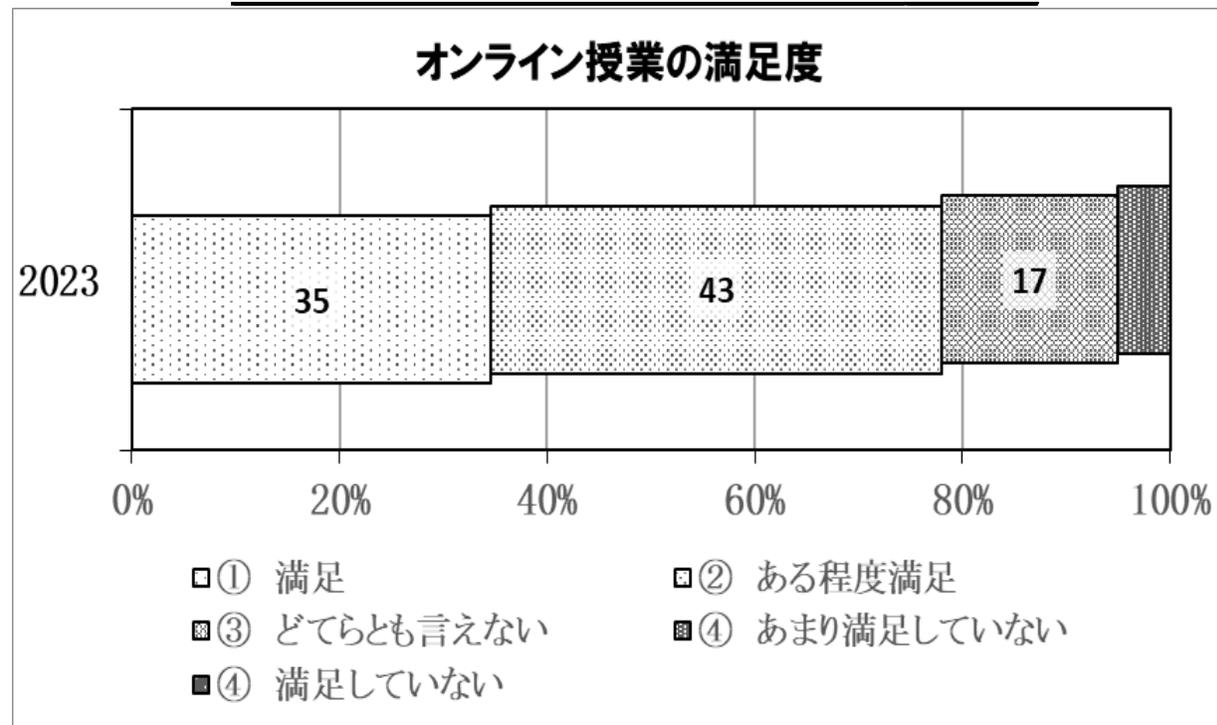
	全学年 2023
① 経験した	89
② 経験しなかった	11
計	100



約9割がオンライン授業を経験。

オンライン授業の満足度 (%)

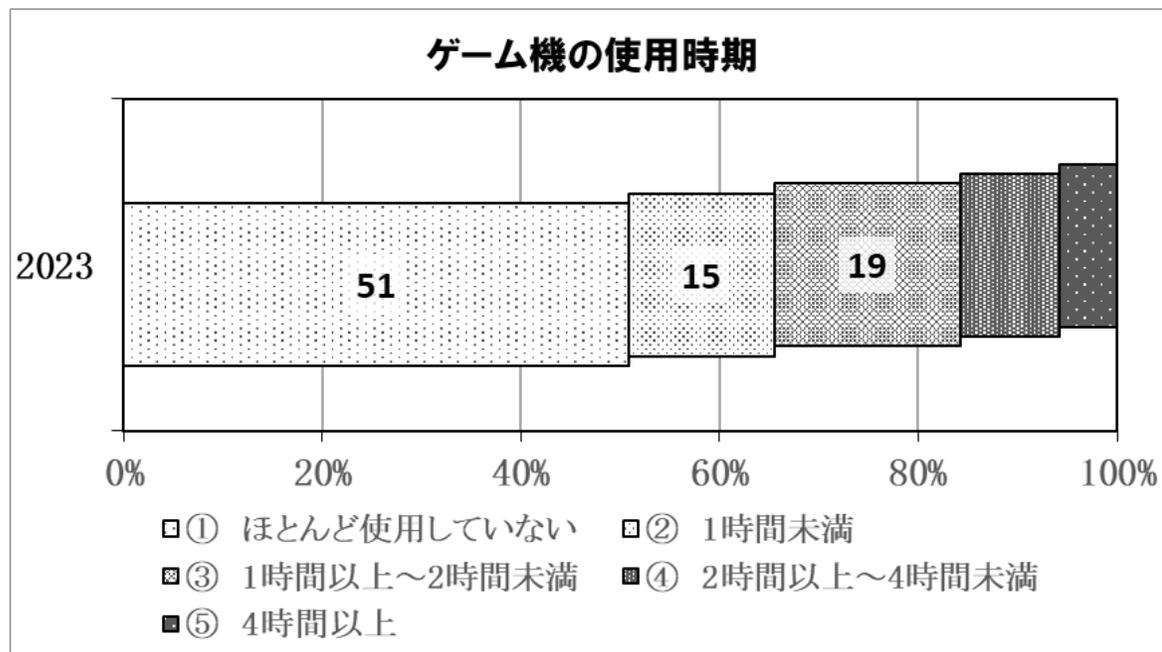
	全学年 2023	
① 満足	35	} 78%
② ある程度満足	43	
③ どてらとも言えない	17	
④ あまり満足していない	5	
④ 満足していない	0	
計	100	



「①満足+②ある程度満足」で 78%。

ゲーム機の使用時間 1日平均 (%)

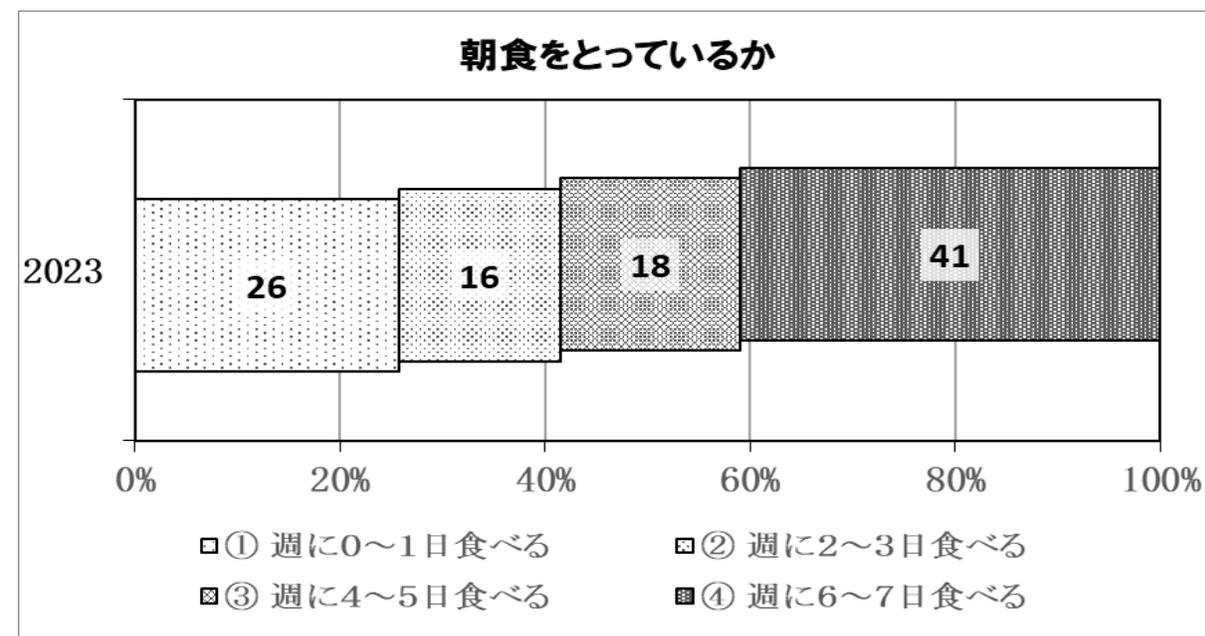
	全学年 2023		GPA 平均
① ほとんど使用していない	51	} 34%	2.64
② 1時間未満	15		
③ 1時間以上～2時間未満	19		
④ 2時間以上～4時間未満	10	} 16%	2.60
⑤ 4時間以上	6		
計	100	ρ 値	0.012 ①<②③



半数は「①ほとんど使用していない」で、毎日「1時間以上」が35%。「2時間以上」が16%。

朝食をとっているか (%)

	全学年 2023		GPA 平均
① 週に0～1日食べる	26	} 34%	2.60
② 週に2～3日食べる	16		
③ 週に4～5日食べる	18		
④ 週に6～7日食べる	41	} 16%	2.86
計	100		



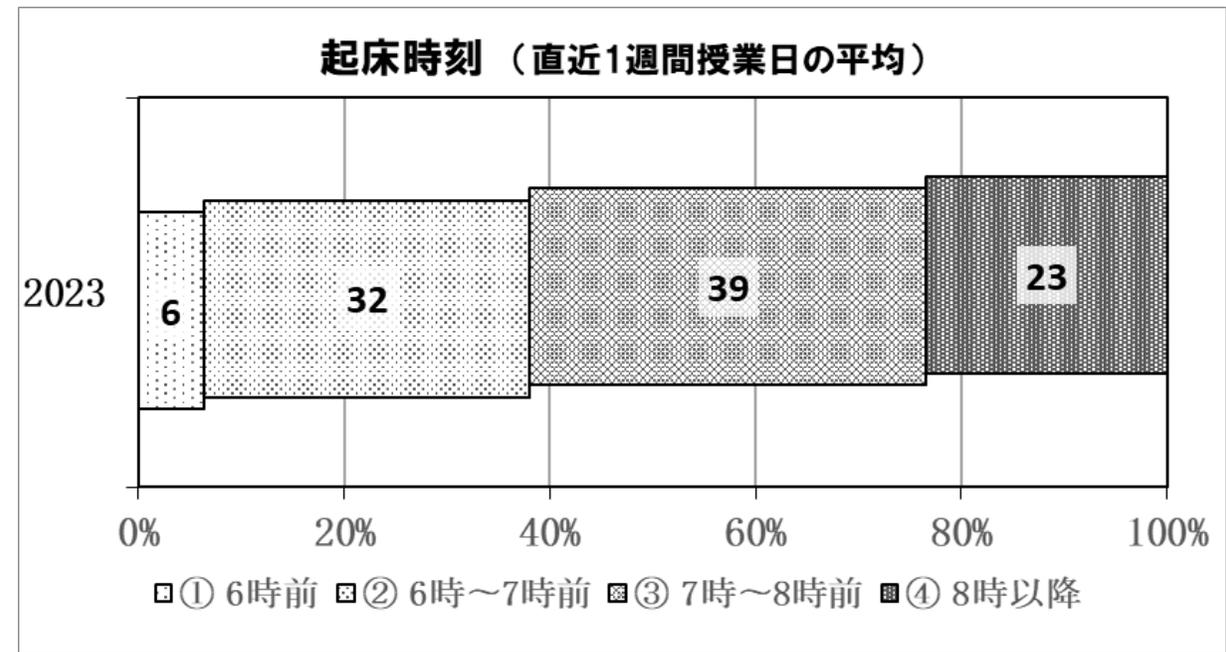
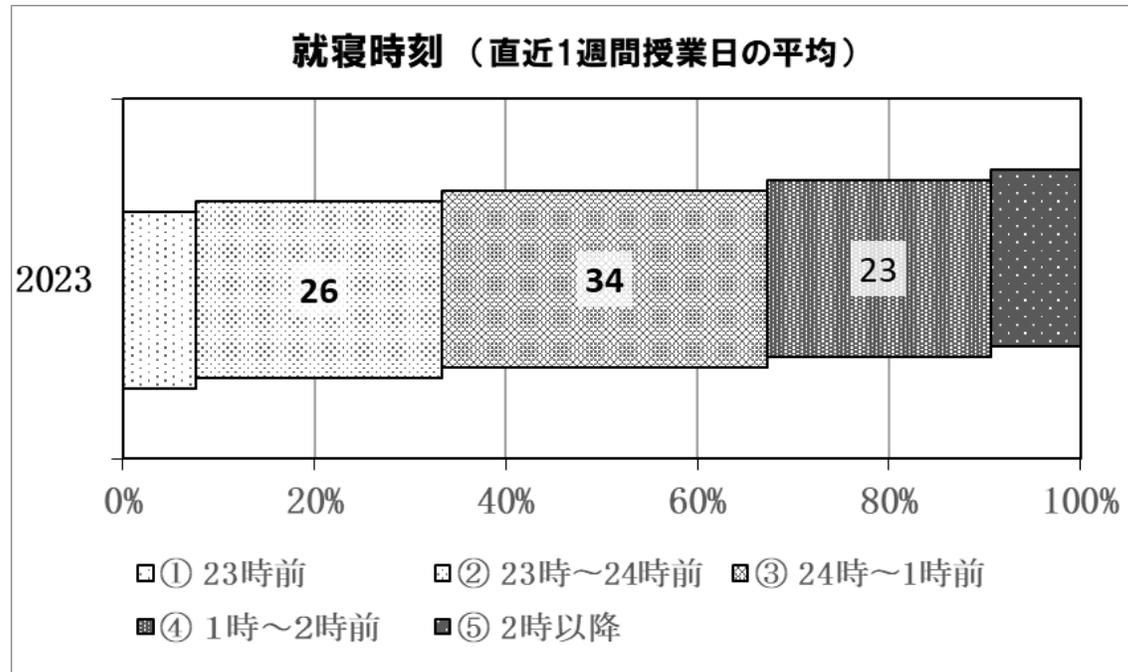
週に半分以上朝食抜き（週3日以下）が42%。

就寝時刻（直近1週間授業日の平均）（%）

	全学年 2023	GPA 平均
① 23時前	8	2.80
② 23時～24時前	26	
③ 24時～1時前	34	2.78
④ 1時～2時前	23	2.63
⑤ 2時以降	9	
計	100	p 値 0.146

起床時刻（直近1週間授業日の平均）（%）

	全学年 2023
① 6時前	6
② 6時～7時前	32
③ 7時～8時前	39
④ 8時以降	23
計	100



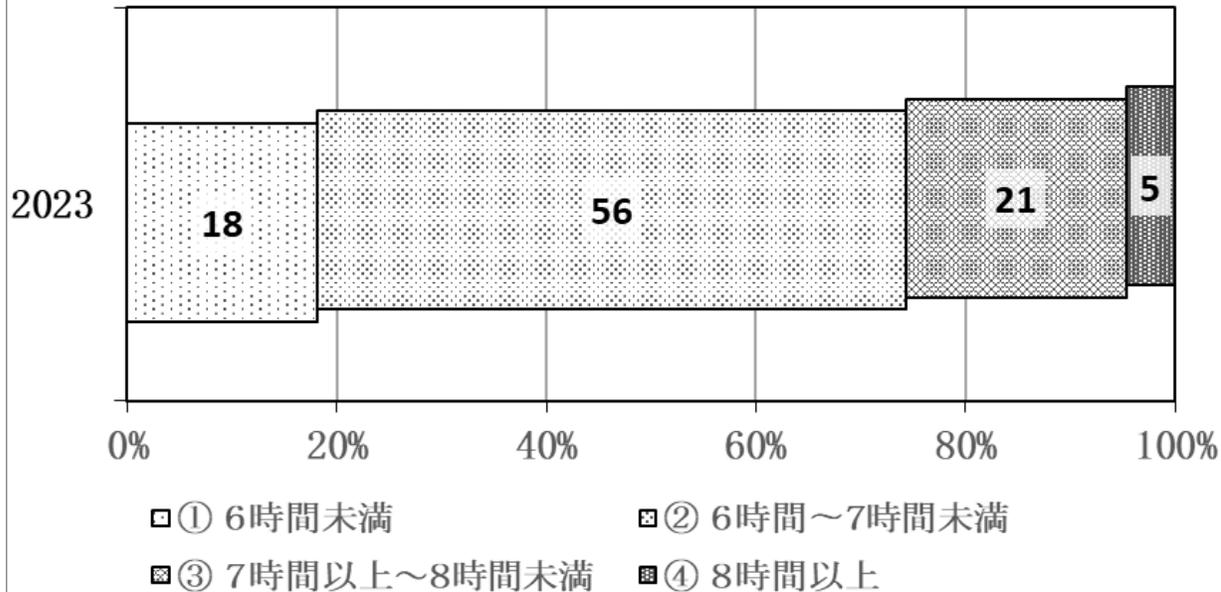
就寝時刻24時以降が 66%。1時以降が 32%。

「①6時前」が6%。

睡眠時間(直近1週間授業日の平均)(%)

	全学年 2023
① 6時間未満	18
② 6時間～7時間未満	56
③ 7時間以上～8時間未満	21
④ 8時間以上	5
計	100

睡眠時間(直近1週間授業日の平均)

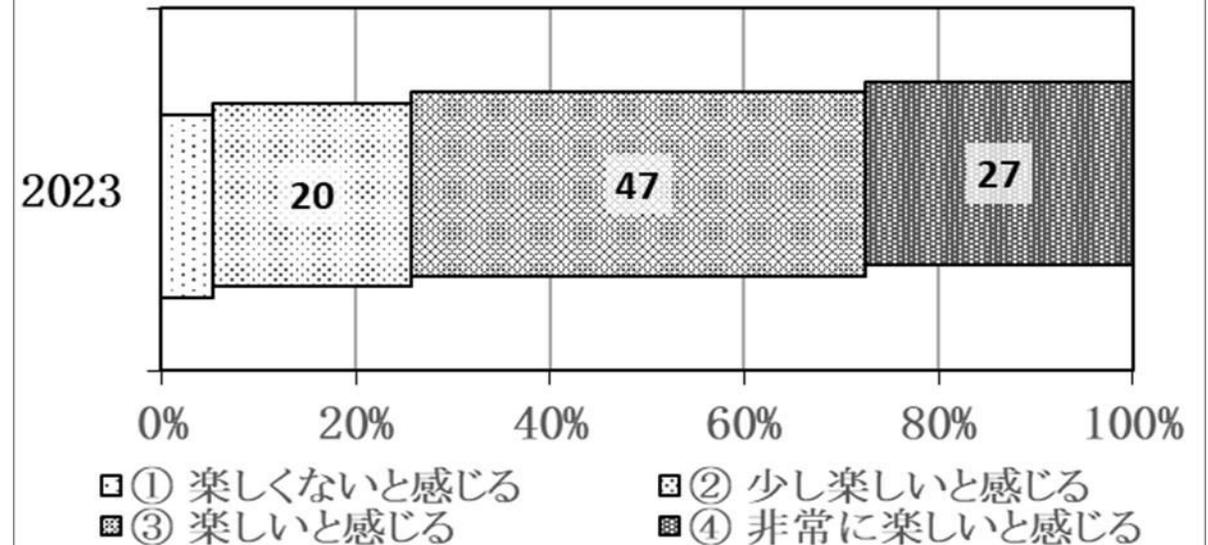


高値項目は「②6時間～7時間未満」が 56%。

大学生活が楽しい(%)

	全学年 2023	
① 楽しくないと感じる	5	} 74%
② 少し楽しいと感じる	20	
③ 楽しいと感じる	47	
④ 非常に楽しいと感じる	27	
計	100	

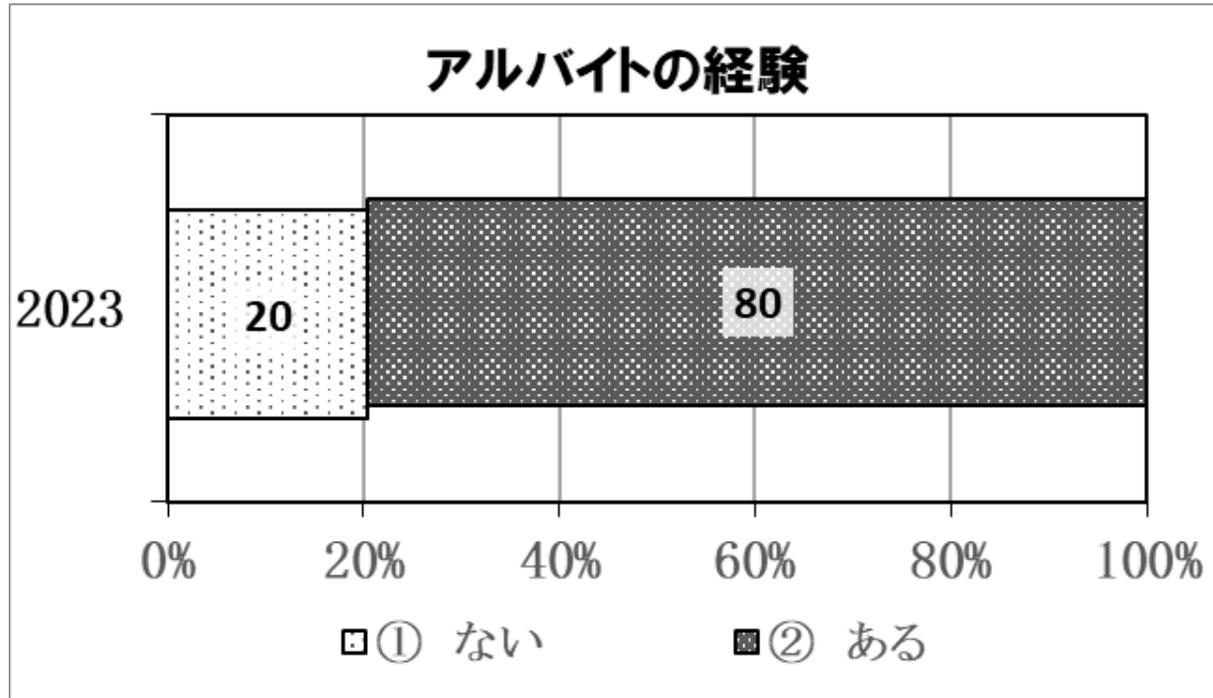
大学生活が楽しい



「③楽しい+④非常に楽しい」と感じるが 74%。

大学入学後にアルバイトの経験 (%)

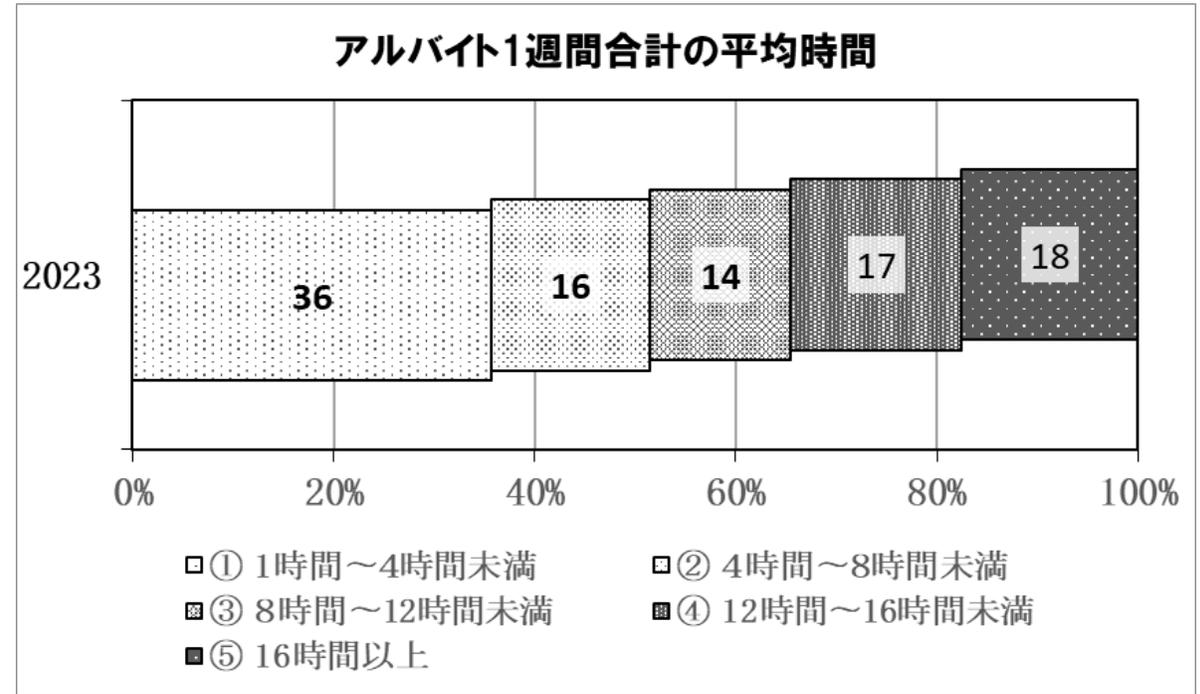
	全学年 2023
① ない	20
② ある	80
計	100



8割がアルバイト経験。

アルバイト1週間合計の平均時間 (%)

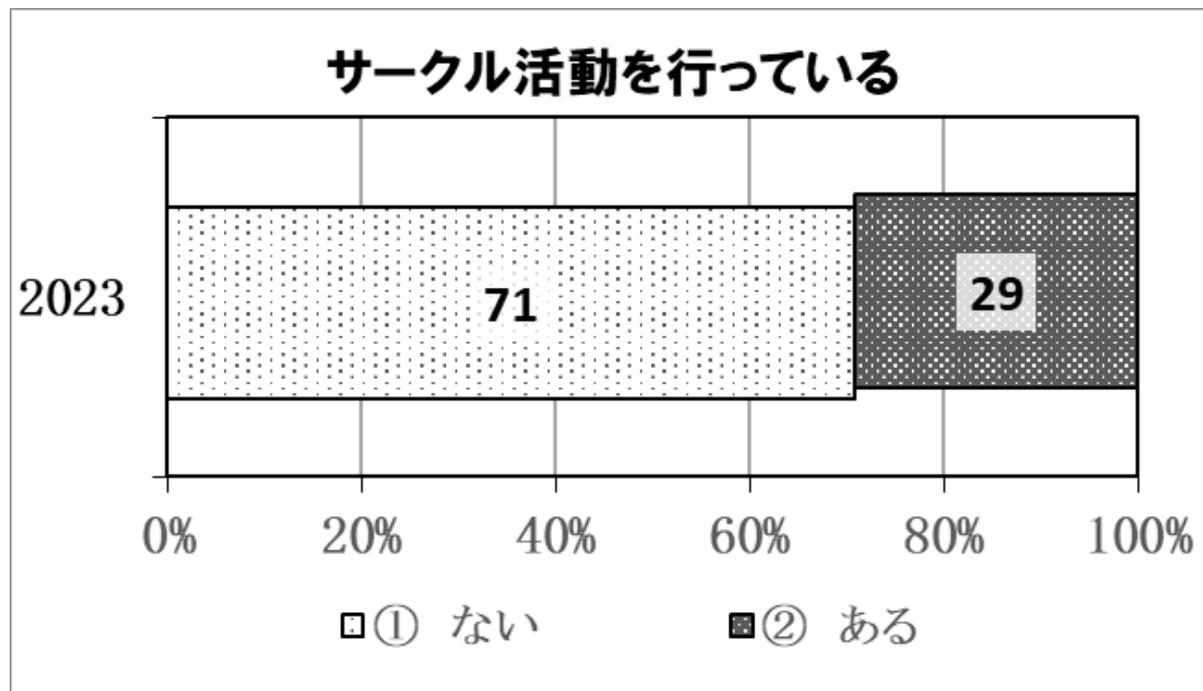
	全学年 2023	
① 1時間～4時間未満	36	} 30%
② 4時間～8時間未満	16	
③ 8時間～12時間未満	14	
④ 12時間～16時間未満	17	} 35%
⑤ 16時間以上	18	
計	100	



①4時間未満の短時間36%、②③の4時間～12時間未満の中間程度30%、④⑤の12時間以上の長時間35%に分かれる。

現在サークル活動を行っている (%)

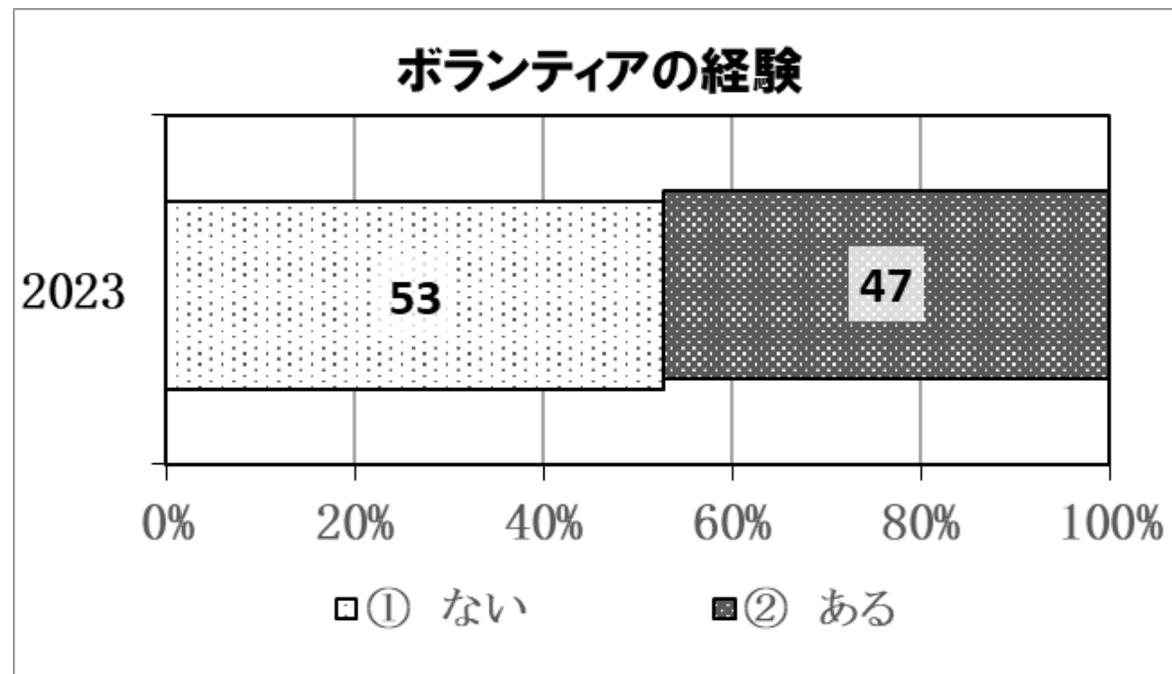
	全学年
	2023
① ない	71
② ある	29
計	100



3割がサークル活動。

授業以外でボランティアの経験 (%)

	全学年
	2023
① ない	53
② ある	47
計	100

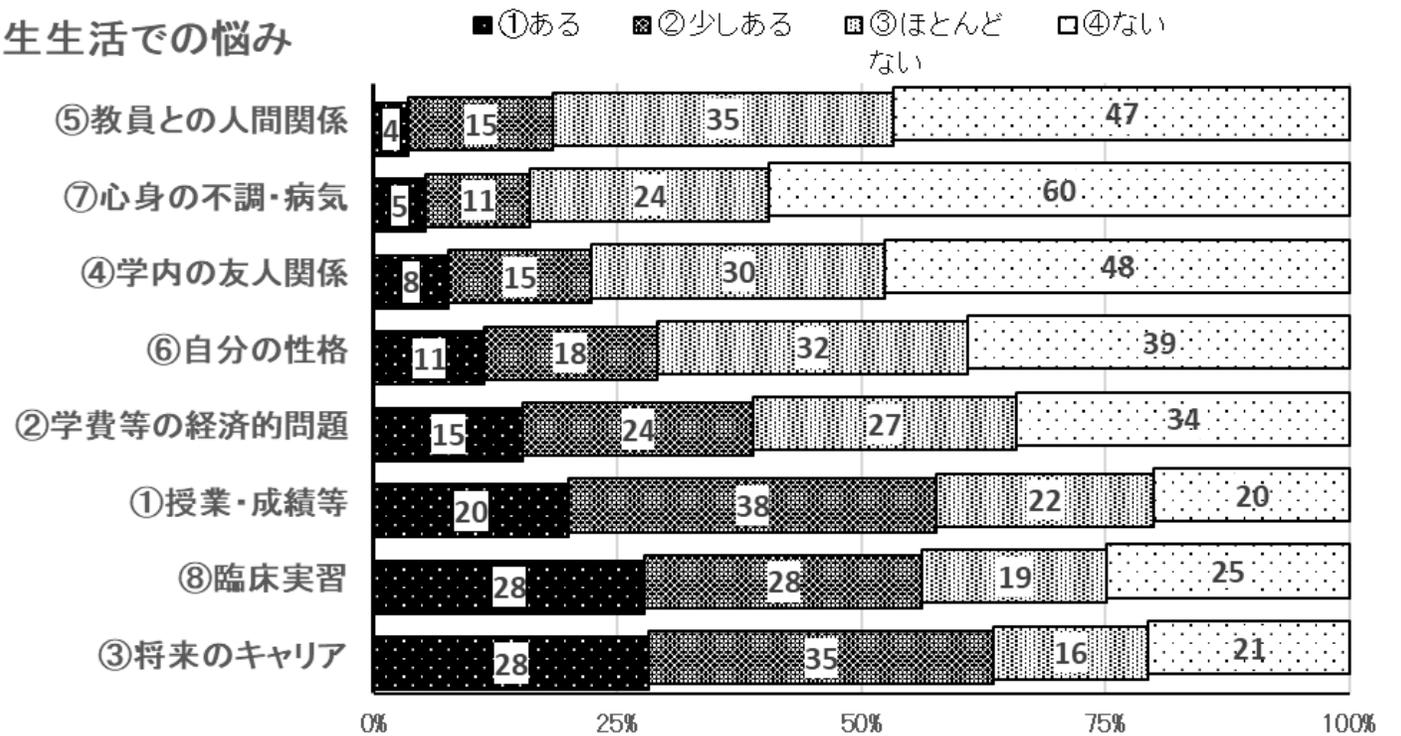


ボランティア経験の有無は半々。

生活を送るうえで悩みあるか %

	①ある	②少しある	③ほとんどない	④ない
③将来のキャリア	28	35	16	21
⑧臨床実習	28	28	19	25
①授業・成績等	20	38	22	20
②学費等の経済的問題	15	24	27	34
⑥自分の性格	11	18	32	39
④学内の友人関係	8	15	30	48
⑦心身の不調・病気	5	11	24	60
⑤教員との人間関係	4	15	35	47

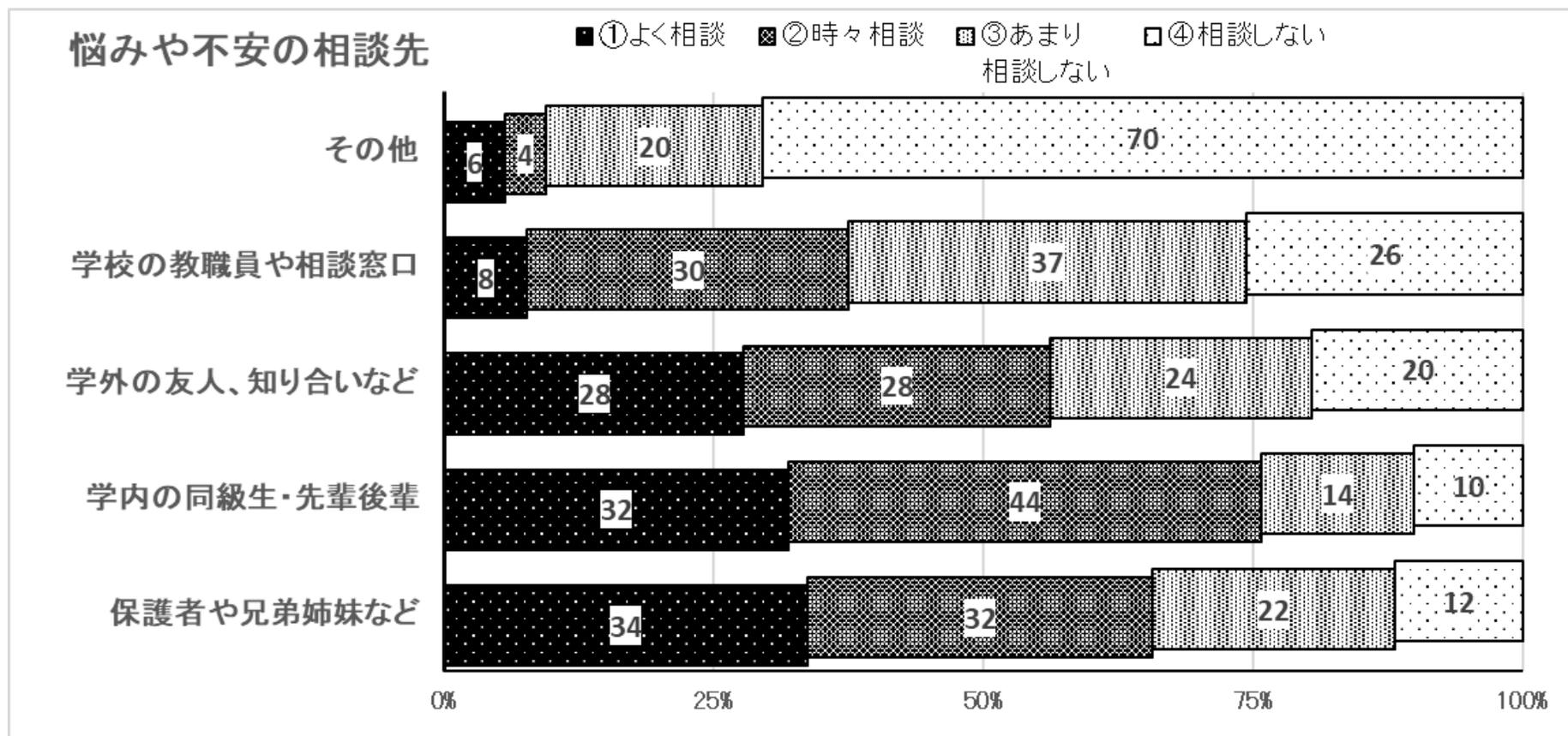
学生生活での悩み



悩みの「ある」高値項目は、「将来のキャリア」「臨床実習」（新規項目）の28%。

悩みや不安の相談先 %

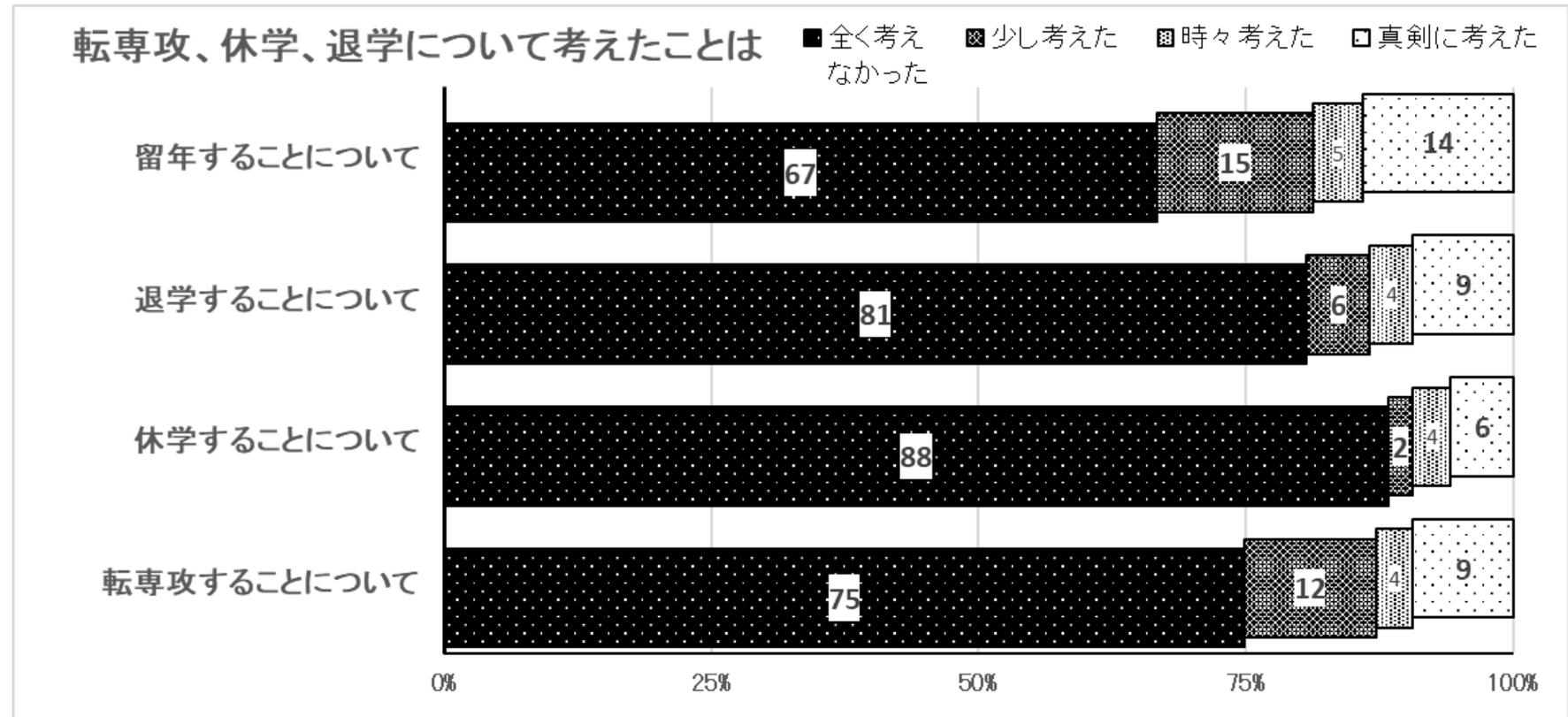
	①よく相談	②時々相談	③あまり相談しない	④相談しない
保護者や兄弟姉妹など	34	32	22	12
学内の同級生・先輩後輩	32	44	14	10
学外の友人、知り合いなど	28	28	24	20
学校の教職員や相談窓口	8	30	37	26
その他	6	4	20	70



「よく相談」の高値項目は、「保護者や兄弟姉妹など」34%、「学内の同級生、先輩後輩」32%。

転専攻、休学、退学、留年について考えたか %

	全く考え なかった	少し考えた	時々 考えた	真剣に 考えた
転専攻することについて	75	12	4	9
休学することについて	88	2	4	6
退学することについて	81	6	4	9
留年することについて	67	15	5	14

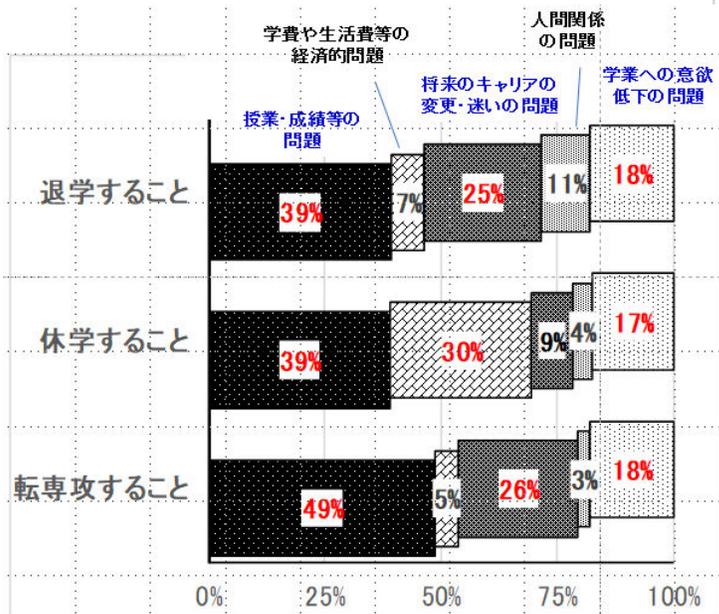


「全く考えなかった」は転専攻・休学・退学が75%～81%、「真剣に考えた」は留年が14%。

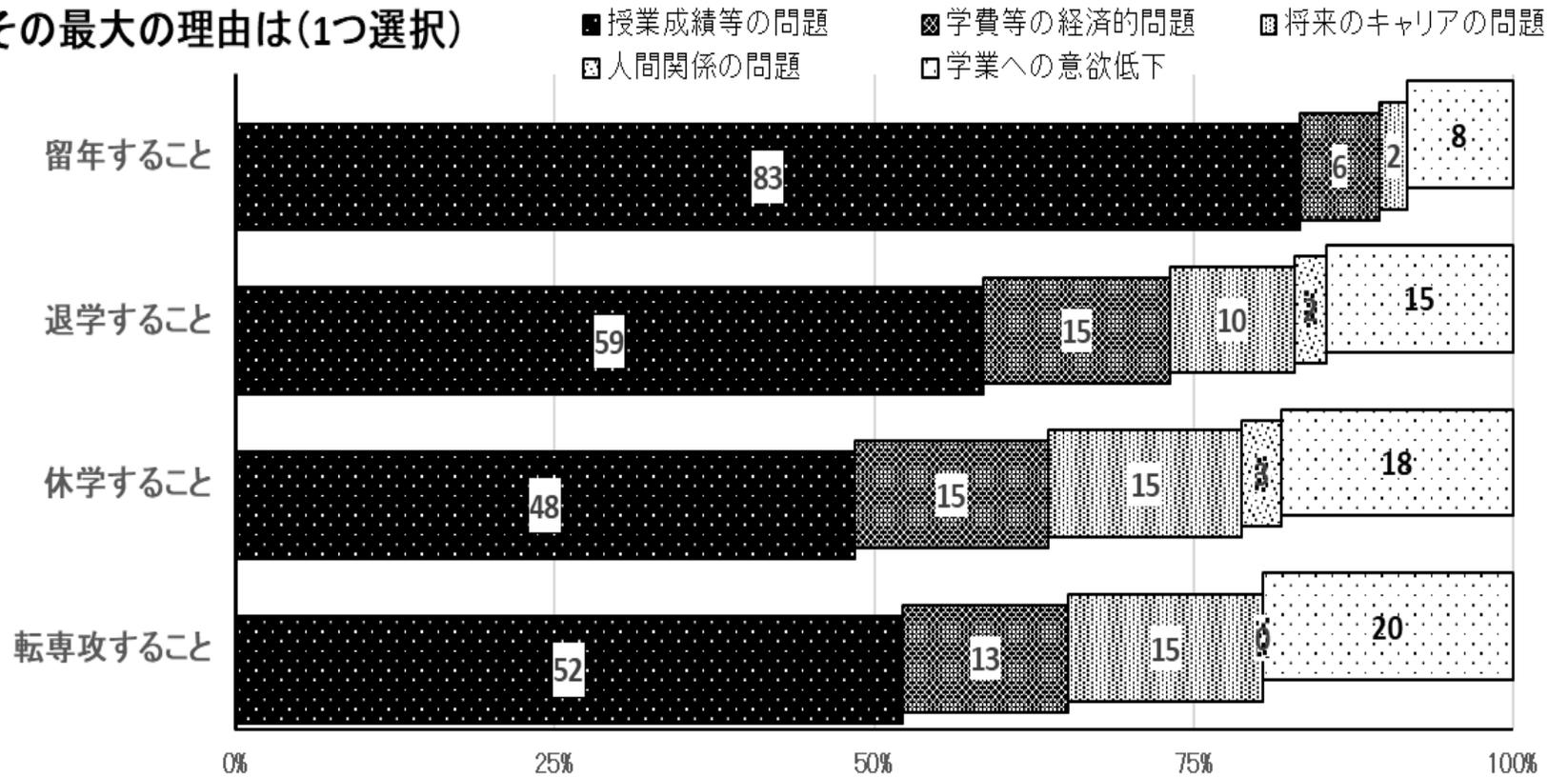
「時々・真剣に」考えた最大の理由 %

	授業成績等の問題	学費等の経済的問題	将来のキャリアの問題	人間関係の問題	学業への意欲低下
転専攻すること	52	13	15	0	20
休学すること	48	15	15	3	18
退学すること	59	15	10	2	15
留年すること	83	6	2	0	8

2022年度調査



その最大の理由は(1つ選択)



「授業成績等の問題」がいずれの項目でも最高値である。「学費等の経済的問題」6～15%は、2022年度の7～30%より大幅に減少、特に経済的問題は休学の理由で30%→15%に減少。一方「授業成績等の問題」は増加。

2023年度 質問項目とGPAの関連(ANOVAの結果)

回答3群とGPAに 有意差のあった項目

回答を内容や割合を参考に順番を3群に分け、GPAを従属変数にして一元配置分散分析（クラスカルウォリス検定）を行った。

「一元配置」の列には p 値記載、「事後検定」は有意差のある群間である。

※「専攻」は左よりPT、OT、RPである。

※分類の詳細は結果の頁を参照する。

従属変数GPAIに対する回答(3群に分類)の分散分析(K-W分析)の結果一覧 (n=166)

回答項目 \ 群間		1	2	3	一元配置 / p 値	事後検定
専攻別	データ数	106	41	19		
	平均	2.69	2.71	3.06	0.009	1,2>3
	標準偏差	0.45	0.50	0.52		
問題についての思考・判断	データ数	22	72	72		
	平均	2.45	2.70	2.87	0.001	1<3
	標準偏差	0.45	0.46	0.48		
レポート作成	データ数	30	62	74		
	平均	2.56	2.66	2.88	0.002	1<3
	標準偏差	0.43	0.51	0.44		
情報リテラシー	データ数	26	44	96		
	平均	2.56	2.67	2.82	0.027	1<3
	標準偏差	0.46	0.54	0.45		
自己表現	データ数	38	63	65		
	平均	2.63	2.63	2.92	0.001	1,2<3
	標準偏差	0.47	0.47	0.45		
1日の学習時間	データ数	62	62	42		
	平均	2.61	2.78	2.87	0.016	1<3
	標準偏差	0.43	0.49	0.50		
1週間の学習日数	データ数	58	53	55		
	平均	2.61	2.80	2.82	0.030	1<3
	標準偏差	0.45	0.50	0.48		
定期的学習	データ数	30	90	46		
	平均	2.52	2.77	2.83	0.014	1,2<3
	標準偏差	0.42	0.48	0.48		
授業中の教員の話	データ数	9	68	89		
	平均	2.41	2.67	2.83	0.011	1<3
	標準偏差	0.39	0.48	0.47		
ゲーム機使用時間 (1日平均)	データ数	85	56	25		
	平均	2.85	2.64	2.60	0.012	1>2
	標準偏差	0.47	0.42	0.56		
毎日朝食とる	データ数	41	57	68		
	平均	2.60	2.70	2.86	0.014	1<3
	標準偏差	0.45	0.46	0.50		

回答3群と
GPAに有意差
のなかった項目

従属変数GPAに対する回答(3群に分類)の分散分析(K-W分析)の結果一覧 (n=166)

回答項目 \ 群間	1	2	3	一元配置 / p 値	事後検定	
学年	データ数	42	54	35	35	
	平均	2.75	2.71	2.70	2.81	0.727
	標準偏差	0.51	0.42	0.54	0.48	
授業中の居眠り	データ数	30	83	53		
	平均	2.56	2.77	2.79	0.072	
	標準偏差	0.43	0.47	0.51		
授業以外の事柄を自主学習	データ数	20	62	84		
	平均	2.66	2.74	2.76	0.716	
	標準偏差	0.43	0.49	0.49		
スマホの使用時間 (1日平均)	データ数	27	68	71		
	平均	2.62	2.81	2.72	0.215	
	標準偏差	0.49	0.46	0.50		
就寝時刻	データ数	55	58	53		
	平均	2.80	2.78	2.63	0.146	
	標準偏差	0.54	0.49	0.40		
大学生活が楽しい	データ数	41	80	45		
	平均	2.69	2.74	2.78	0.711	
	標準偏差	0.55	0.50	0.37		
アルバイトの週・合計時間	データ数	59	51	56		
	平均	2.78	2.75	2.69	0.597	
	標準偏差	0.49	0.50	0.46		
悩み_臨床実習	データ数	45	47	73		
	平均	2.77	2.72	2.74	0.880	
	標準偏差	0.53	0.47	0.47		